

SPORTS PROMOTION PLAN

**武蔵村山市スポーツ推進計画
改訂版**

(平成29年度～平成33年度)

平成29年12月

武蔵村山市教育委員会

はじめに

スポーツ・レクリエーションに親しむことは、体力の向上、精神的なストレスの解消といった心身の両面にわたる健康の保持増進や地域コミュニティの活性化などにつながることから、市民のスポーツ・レクリエーション活動に対するニーズは、拡大・多様化しております。

平成23年6月には、昭和36年に制定されたスポーツ振興法の全部が改正され、「スポーツに関する施策の基本となる事項を定めることにより、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与すること」を目的としたスポーツ基本法が制定されたところです。

こうした状況の中、本市におきましては、平成23年2月に策定した武蔵村山市第四次長期総合計画において、スポーツ・レクリエーションに関し、「市民が楽しみながら、いつでも気軽に健康・体力づくりができるよう、スポーツ・レクリエーション事業の拡大や生涯にわたってスポーツとの関わりを持てる環境の整備、スポーツ・レクリエーション施設の整備、改善を推進します。」との基本方針を掲げております。

さらに、平成26年10月には「スポーツ都市宣言」を行い、スポーツへの関心を継承・発展させ、スポーツを通じて市民が豊かで健康的な生活を営むことにより、賑わいと活力のあるまちづくりの推進に努めています。

また、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機にスポーツへの関心が高まることで、今後、スポーツはますます重要な役割を担うことと認識しております。

これらを踏まえ、市民の健康増進と体力の向上を目指し、スポーツ・レクリエーションの普及に努めるとともに、市民の生涯スポーツ活動を計画的に推進するため平成24年3月に策定した「武蔵村山市スポーツ推進計画」の見直しを行い、この度、「武蔵村山市スポーツ推進計画改訂版」を策定いたしました。

今後は、本計画を基に市民ニーズの動向を的確に把握し、生涯にわたり楽しめるスポーツ環境を推進してまいりたいと考えております。

結びに、本計画の策定にあたり貴重な御意見等をいただきました多くの皆様に、厚く御礼申し上げます。

平成29年12月

武蔵村山市教育長 持田 浩志

◆◆◆◆ 目次 ◆◆◆◆

第1章 総論

第1節	スポーツの意義	3
第2節	計画策定の背景	4
第3節	計画の位置付け	5
第4節	計画の基本方針	6
1	計画の趣旨	6
2	計画の視点と目標	6
3	計画期間	7

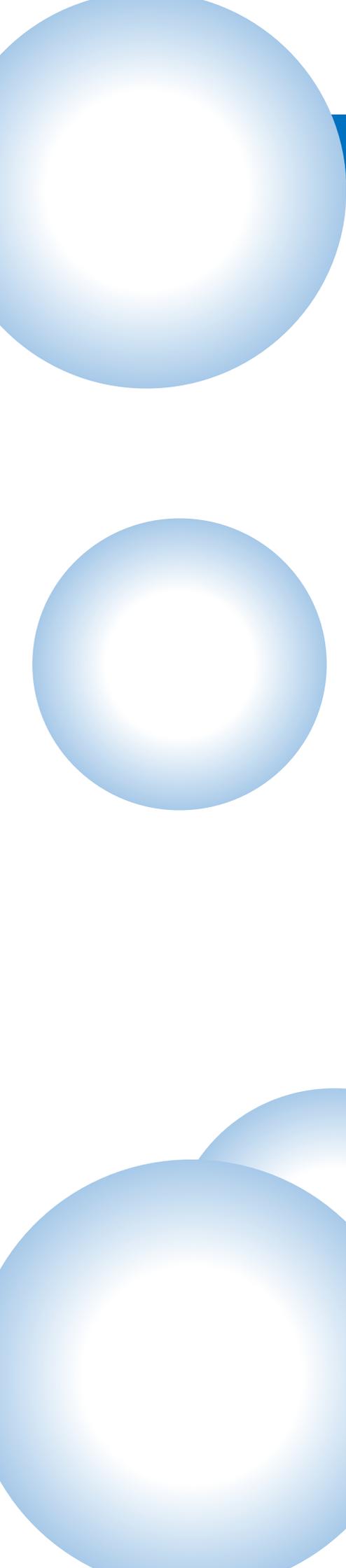
第2章 スポーツ推進施策の展開

第1節	生涯スポーツの普及推進による底辺の拡大	1 1
1	総合型地域スポーツクラブの育成と展開	1 1
2	レクリエーションスポーツの充実	1 3
3	スポーツに親しむ子供の育成	1 4
4	成年スポーツの活動支援	1 6
5	中高齢者スポーツの活動支援	1 8
6	障害者スポーツの活動支援	1 9
7	生涯スポーツ指導者の育成	2 0
第2節	競技スポーツの充実・向上	2 2
1	競技スポーツ団体等の活性化の推進	2 2
2	競技スポーツ大会の充実	2 3
3	競技スポーツ環境の充実	2 4
4	東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とするスポーツの推進	2 5

第3節	スポーツ施設等の整備・充実	28
1	公共のスポーツ施設等の整備・充実	28
2	学校体育施設の整備・充実	31
3	公園・広場等の整備・充実	31
第4節	スポーツ推進への行政の関わりの強化・充実	33
1	スポーツへの参加支援	33
2	スポーツ情報の提供	34

資料編

1	スポーツ都市宣言	39
2	アンケート調査概要	40
3	アンケート調査結果	42
4	武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会	57
(1)	武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱	57
(2)	武蔵村山市スポーツ推進計画改訂版策定経過	59
(3)	武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会委員名簿	60



第1章 総論

第1節 スポーツの意義

第2節 計画策定の背景

第3節 計画の位置付け

第4節 計画の基本方針

- 1 計画の趣旨
- 2 計画の視点と目標
- 3 計画期間

第1節

スポーツの意義

スポーツは、体を動かすという人間の本源的欲求に応えるとともに、爽快感や達成感等という精神的な充足や楽しみ、喜びをもたらします。

また、健康の保持増進や体力の向上を図るだけでなく、特に子供たちにとっては、心身の健全な発達を促し、自己責任・克己心（自制心）や社会規範、フェアプレーの精神などを身に付ける上で大きな効果があり、仲間や大人との交流を通じて、コミュニケーション能力の向上や他人に対する思いやりなど、豊かな人間性のかん養に資するものです。

一方、スポーツは可能性の追求という面をもっており、アスリートの自己を高める努力は、人々に感動と勇気をもたらし、活力ある社会の形成に寄与することとなります。さらに、身近な施設でスポーツ活動を行うことを通して、人々は互いに交流を深め合い、地域の連帯感の醸成にも資することとなります。

このように、スポーツは多様な意義を有しており、スポーツを通し、地域住民との交流を楽しんだり、仲間たちと技を極めたり、子供たちの豊かな心と体を学校と地域で育んだり、さらにはスポーツを支える基盤や環境をニーズに応じ整えたりするなど、私たちは、スポーツと様々な関わりをもって活動しており、今後、スポーツを生活に欠かせない一つの文化として、より一層浸透させていくことが必要となっています。

第2節

計画策定の背景

国は、平成23年6月に昭和36年に制定されたスポーツ振興法の全部を改正し、スポーツ基本法を定め、スポーツ基本法に示された理念の実現に向け、平成24年度から10年間のスポーツ推進の基本方針と5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策が示された「スポーツ基本計画」を定めました。その後、平成29年3月には「第2期スポーツ基本計画」が策定されました。

また、平成27年10月には平成32年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた競技力の向上や国民の健康増進などスポーツに関する施策を推進するため、文部科学省の外局としてスポーツ庁が設置されました。

東京都においては、平成20年7月に策定した「東京都スポーツ振興基本計画」を改定し、平成25年3月には「スポーツ祭東京2013」以降の新たなスポーツ推進の指針として「東京都スポーツ推進計画」を策定し、平成32年には、世界に誇る成熟都市の模範として、スポーツが都民の日常に溶け込み、スポーツを通じて一人一人が輝く「スポーツ都市東京」の実現を目指しています。

本市では、平成23年2月に「武蔵村山市第四次長期総合計画」を策定し、市の将来都市像を『人と緑が織りなす 夢ひろがる やさしいまち むさしむらやま』と定め、①地域が一体になって人を育み、守る、思いやりのあるまちづくり、②恵まれた自然環境と都心近郊の利便性が感じられる、快適で暮らしやすいまちづくり、③自然や文化、産業を生かし、地域の特性を生かした個性あるまちづくり、④市民、事業者と市が協働し、みんなで考え、行動するまちづくりの4つのまちづくりの理念のもと、各分野のまちづくり施策・事業の実施を掲げています。この計画の中では、スポーツ・レクリエーションの分野で「市民が楽しみながら、いつでも気軽に健康・体力づくりができるよう、スポーツ・レクリエーション事業の拡充や生涯にわたってスポーツとの関わりを持てる環境の整備、スポーツ・レクリエーション施設の整備、改善を推進します。」との基本方針を掲げています。

また、平成26年10月には、スポーツへの関心を継承・発展させ、スポーツを通じて市民が豊かで健康的な生活を営むことにより、賑わいと活力のあるまちづくりを推進するため、「スポーツ都市宣言(★)」を行いました。

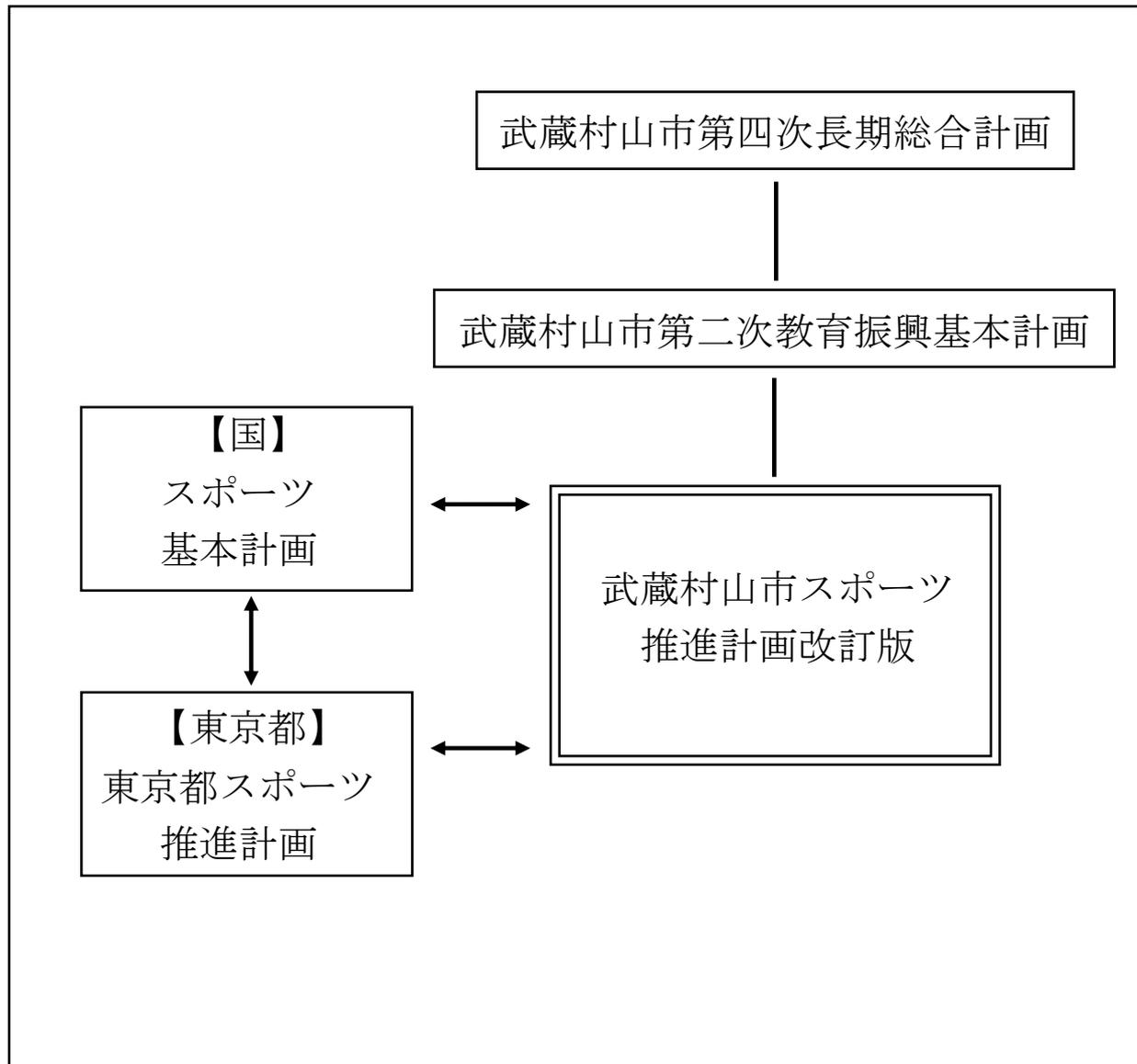
(★) スポーツ都市宣言 資料編39ページ参照

これらを背景に、市の情勢と地域の現状や市民ニーズを的確に捉えながら、市民の主体的なスポーツ活動を支援・推進するため、平成24年3月に策定した「武蔵村山市スポーツ推進計画」の見直しを行い、「武蔵村山市スポーツ推進計画改訂版」を策定することとしました。

第3節

計画の位置付け

国や都の動向、市の関連計画の動向等を踏まえ、本計画の位置付けは、次のとおりとします。



第4節

計画の基本方針

1 計画の趣旨

スポーツ基本法第10条で、都道府県及び市町村の教育委員会は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとされています。

平成24年3月に策定した「武蔵村山市スポーツ推進計画」は、10年間のスポーツ推進施策について定めていますが、5年ごとに計画の進捗状況や成果を調査等で確認し、施策や事業の見直しを図ることとしており、今回、「武蔵村山市スポーツ推進計画改訂版」を策定しました。

また、本計画では、競技スポーツのほか、気軽に体を動かす運動、障害者スポーツや健康増進など、スポーツを広い視点で捉えるとともに、本市の特性を生かし、市民のスポーツライフを計画的に創出することを目的とします。

そのための方策として、以下の4つの柱を設け、中・長期的な視点に立ったスポーツ推進の基本的な施策として、相互に連携させながら推進します。

- 1 生涯スポーツの普及推進による底辺の拡大
- 2 競技スポーツの充実・向上
- 3 スポーツ環境の整備・充実
- 4 スポーツ推進への行政の関わりの強化・充実

2 計画の視点と目標

スポーツの意義や効果を生かしつつ、市民スポーツの現状やスポーツニーズなどスポーツ推進上の課題を踏まえ、市民の生涯にわたり明るく健康的で活力に満ちたスポーツライフの基盤づくりを重点施策とし、生涯スポーツ社会の実現を目指します。

そして、市民がいつまでも気軽に身近な場所で、だれもが、生涯にわたって、運動やスポーツ、レクリエーション活動などを楽しむことができる環境を整えながら、幅広いスポーツ活動を展開していきます。さらに、本計画では次の重点目標を掲げて施策を展開し、その達成を目指します。

第2章 スポーツ推進施策の展開

第1節 生涯スポーツの普及推進による底辺の拡大

- 1 総合型地域スポーツクラブの育成と展開
- 2 レクリエーションスポーツの充実
- 3 スポーツに親しむ子供の育成
- 4 成年スポーツの活動支援
- 5 中高齢者スポーツの活動支援
- 6 障害者スポーツの活動支援
- 7 生涯スポーツ指導者の育成

第2節 競技スポーツの充実・向上

- 1 競技スポーツ団体等の活性化の推進
- 2 競技スポーツ大会の充実
- 3 競技スポーツ環境の充実
- 4 東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とするスポーツの推進

第3節 スポーツ施設等の整備・充実

- 1 公共のスポーツ施設等の整備・充実
- 2 学校体育施設の整備・充実
- 3 公園・広場等の整備・充実

第4節 スポーツ推進への行政の関わりの強化・充実

- 1 スポーツへの参加支援
- 2 スポーツ情報の提供

第1節 生涯スポーツの普及推進による底辺の拡大

市民の豊かなスポーツライフの実現に向け、健康増進や生きがいつくり、青少年の健全育成やコミュニティの醸成など、スポーツ活動の効果を高める施策の普及推進を図り、その裾野を拡げます。

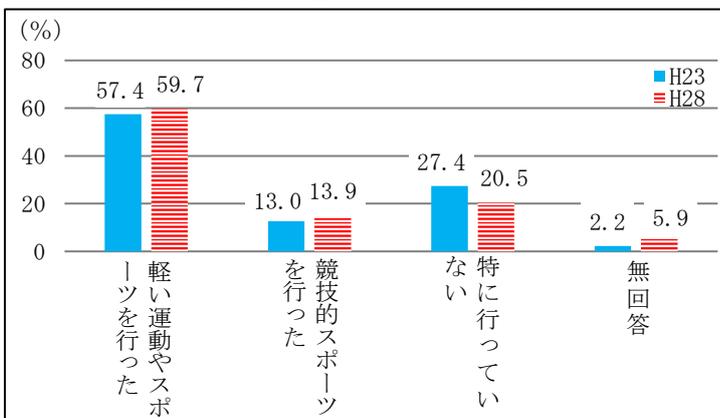
1 総合型地域スポーツクラブの育成と展開

現状と課題

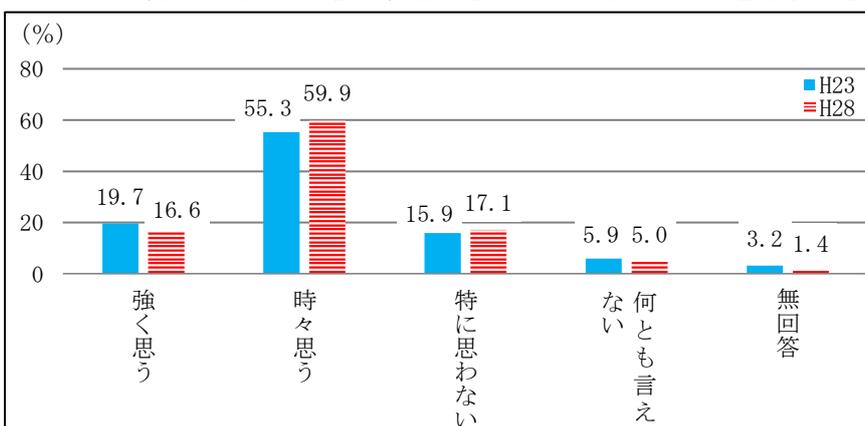
市内で初めて設立された総合型地域スポーツクラブ「よってかっしえクラブ」は「だれでも」、「どこでも」、「いつでも」、「いつまでも」、「世代を超えて」気軽に楽しむことができる地域コミュニティの場として平成25年2月に設立されました。平成29年3月時点で約250人が会員登録をしていますが、市民の認知度は低いのが現状であり、広報活動、環境整備を促進することが望まれます。

また、本市が行ったアンケート調査結果においては、スポーツを行っていない市民は約21%である一方、もっとスポーツを行いたいと思う市民が約77%であることから、多世代の市民が多様なスポーツを行える機会の提供が必要です。このことから、地域の住民が中心になり自主的に運営していく総合型地域スポーツクラブの役割は大きく、更なる運営強化が望まれます。

アンケート調査 問9 「過去1年位の間にならかのスポーツを行いましたか？」

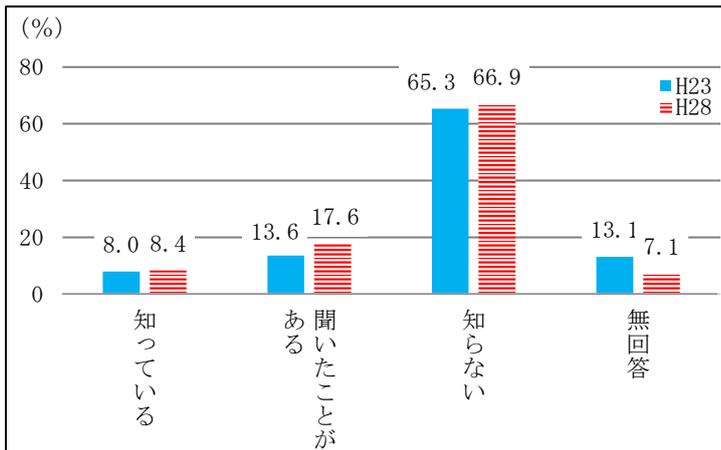


アンケート調査 問10 「普段、もっとスポーツを行いたいと思うことはありますか？」



第2章 スポーツ推進施策の展開

アンケート調査 問26 「総合型地域スポーツクラブについて知っていますか？」



具体的な取組と施策展開

取組名	内 容	所管課
総合型地域スポーツクラブの運営支援	各種事業への協力や運営に関する意見交換を行い、安定したスポーツ活動の場を展開します。	スポーツ振興課
総合型地域スポーツクラブのPR	広報紙、ホームページ、SNS ^(※2) 等を活用し、市民の認知度の向上や活動情報の提供に努めます。	スポーツ振興課
学校施設等の公共施設での活動	総合型地域スポーツクラブの活動地域を広げるため、学校施設等の公共施設での活動を検討します。	教育総務課 スポーツ振興課
人材確保・育成	マネージメントの能力がある人材やスポーツ・サークル（文化的活動を含む。）活動などの指導ができる人材の確保や育成の方法を確立します。	文化振興課 スポーツ振興課

(※2) SNS

→Social Networking Service の略称。インターネット上の交流を通して社会的ネットワーク（ソーシャル・ネットワーク）を構築するサービスのこと。

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
総合型地域スポーツクラブの会員数	250人	380人
総合型地域スポーツクラブの事業種目	9事業	11事業
総合型地域スポーツクラブの認知度	26%	50%

2 レクリエーションスポーツの充実

現状と課題

レクリエーションスポーツ（※3）、コミュニティスポーツ（※4）、ニュースポーツ（※5）は、だれでも気軽に楽しめるスポーツです。

各地区で組織されているスポーツ協力員連絡会で行われているレクリエーションスポーツ事業などは、これまでの地区の実情に即した形で行われてきたため、どうしても限定的な活動になりがちで、参加者の広がりには欠けている面もあります。そのため、新たにニュースポーツなどを取り入れることで、参加者の拡大を図ることが望まれます。

また、地域で行われているスポーツなどを指導できるリーダーの確保・育成が課題となっています。

（※3）レクリエーションスポーツ

→幼児から高齢者まで生涯を通じてだれでも気軽に楽しんでプレイできるスポーツ

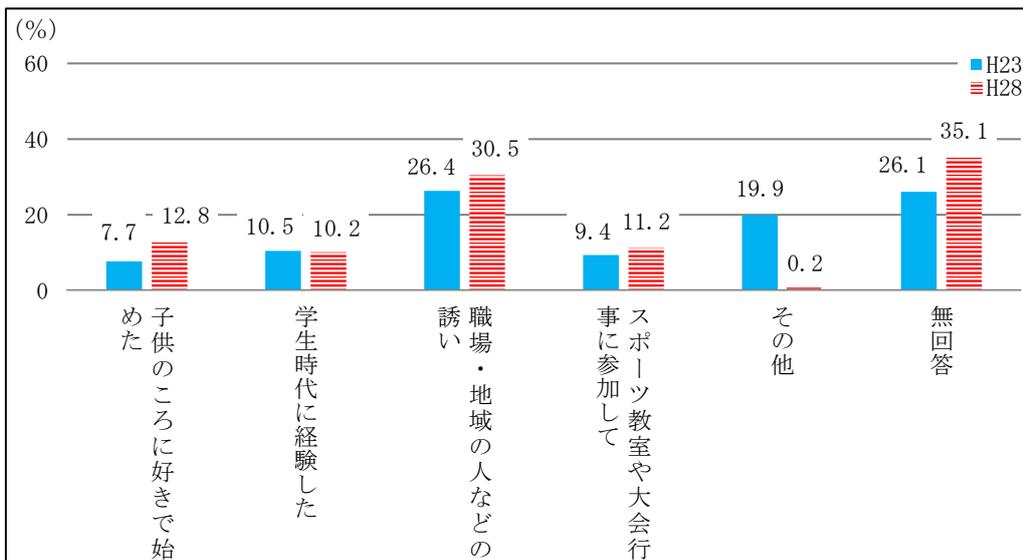
（※4）コミュニティスポーツ

→住民が自発的に行い、地域社会の連帯を強める目的として行うスポーツ活動

（※5）ニュースポーツ

→軽スポーツ、やわらかいスポーツとして、一般に勝敗にこだわらない気軽楽しむことを主眼とした身体運動

アンケート調査 問13 「スポーツを始めたきっかけは何ですか？」



具体的な取組と施策展開

取組名	内容	所管課
各地区のレクリエーションスポーツ事業等の充実	各地区のレクリエーションスポーツ事業等の種目を再検討し、参加者の増加を図ります。	スポーツ振興課

取組名	内 容	所管課
ニュースポーツ体験教室の実施	スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験教室を引き続き開催し、参加者の増加を図ります。	スポーツ振興課
既存のスポーツ施設の充実	スポーツ施設利用者がより利用しやすいよう設備の整備を行います。	スポーツ振興課

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
各地区のレクリエーションスポーツ事業等への参加者数	1,412人	2,000人
地区スポレク大会への参加者数	4,450人	5,000人
ニュースポーツ体験教室の参加者数	188人	300人

3 スポーツに親しむ子供の育成

現状と課題

子供の体力の現状として、文部科学省が行っている「体力・運動能力調査」によると、子供の体力・運動能力は、昭和60年頃から現在まで低下傾向が続いている反面、体格は向上しているといわれています。

子供の体格の向上に反比例した体力の低下や、スポーツをする子供と全くしない子供の二極化、さらに、テレビゲームなどで体を動かす遊びや運動を行う機会が減少していることから、体を動かす楽しさを早期に覚えさせることが課題となっています。

本市では、平成27年7月に「武蔵村山市スポーツ少年団(※6)」を設立し、スポーツ、文化活動を通じた青少年の心身の健全育成に努めています。

(※6) 武蔵村山市スポーツ少年団

→体育協会内に設置する「少年団本部」及び原則小学生以上の団員10人以上と指導者2人以上で登録する「単位スポーツ少年団」にて構成される。

具体的な取組と施策展開

取組名	内 容	所管課
少年・少女スポーツ大会事業の継続	野球、サッカー、ドッジボール、相撲の4つの大会を継続的に開催し、子供たちがスポーツに親しむ機会の提供に努めます。	スポーツ振興課

取組名	内 容	所管課
武蔵村山市スポーツ少年団への活動支援	スポーツ大会への参加や講演会の開催を支援します。また、研修会等へ人員を派遣し、指導者の確保・育成を行います。	スポーツ振興課
小学校校庭遊び場開放	開放管理員を配置して事故防止に努めながら、在校する児童を対象に放課後の小学校の校庭を遊び場として開放します。	スポーツ振興課
ステップアップ教室の実施	総合体育館において、高校生以上を対象にしたヨガやフラダンス、ピラティス等のフィットネスのほか、バドミントン、卓球等の少人数制の教室を実施します。また、子供を対象にしたダンス等の教室も実施します。	スポーツ振興課
親子でスポーツに親しむ機会の提供	スポーツイベント等を通じて、親子で楽しめるスポーツを紹介し、体験することで、スポーツに親しむ機会の提供に努めます。	スポーツ振興課
食育 ^(※7) の理解を深めるイベントの開催	パネル展示等を行い、食への関心を高め、子供の体力の向上を図ります。	健康推進課
体力向上に向けた指導法の工夫・改善	体育の時間内で運動量を増やすなど指導法の工夫・改善を図ります。また、東京都統一体力テストの実施・分析を行い、体育授業の改善に役立てます。	教育指導課
中学校における生徒の部活動加入の推進	生徒一人一人の特性を生かして部活動に加入できるようにするとともに、一つのことを諦めずに継続して行うことや、仲間と協力して成し遂げることの喜びを体験できるようにします。	教育指導課

(※7) 食育

→生きる上での基本として、知育・徳育・体育の基礎となる食に関する指導の総称。様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人を育てることを目的として行われるもの。

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
武蔵村山市スポーツ少年団 単位スポーツ少年団の登録 数	1 団体	6 団体
小学校校庭遊び場開放の利 用者数	52,317 人	55,000 人

第2章 スポーツ推進施策の展開

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
東京都統一体力テストにおける小学校5年生のシャトルランの平均値(回数)	男子44.8回 女子36.2回 (平成27年度末)	男子50回 女子37回
東京都統一体力テストにおける中学校2年生の持久走(男子1,500m、女子1,000m)の平均値(秒)	男子391.9秒 女子297.2秒 (平成27年度末)	男子390秒 女子295秒

4 成年スポーツの活動支援

現状と課題

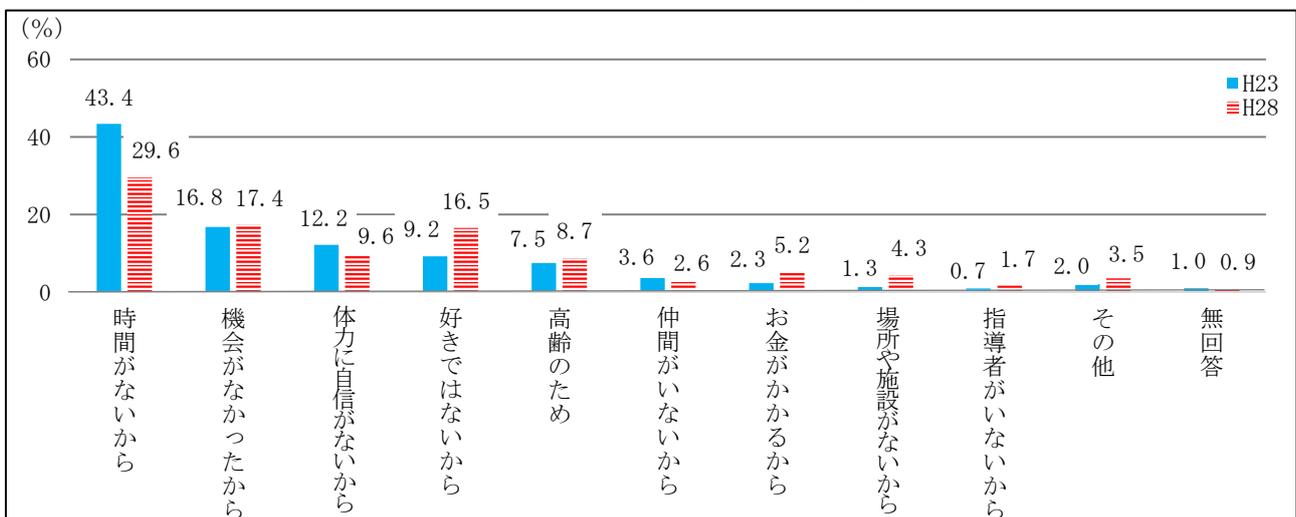
平成28年度にスポーツ庁が実施した「平成28年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」によると、18歳以上の成人が過去1年間に何らかのスポーツを行ったとする割合は約63%で、平成21年度の推計データ(約45%)と比較すると上昇傾向にあるといえます。

本市が行ったアンケート調査結果においては、成人の過去1年間のスポーツ実施率は約66%であり、平成23年のアンケート結果(約61%)と比較すると若干の上昇傾向が伺えます。

一方、過去1年間にスポーツを行わなかった理由を問う設問では、平成23年は1番目に「時間がないから」、2番目に「機会がなかったから」、3番目に「体力に自信がないから」という理由であったのに対し、平成28年では1番目に「時間がないから」、2番目に「機会がなかったから」、3番目に「好きではないから」という理由が示されました。

このことから、身近な場で気軽に楽しめるスポーツ等ができる機会の拡充が求められています。

アンケート調査 問9-1 「なぜスポーツを行わなかったのですか？」(H23は複数回答)



具体的な取組と施策展開

取組名	内 容	所管課
観光・商業分野等と連携したスポーツイベントの開催	狭山丘陵、かたくりの湯等の観光スポットや地域ブランドを活用したスポーツイベントを開催します。 また、お薦めポイント等の紹介により気軽にジョギングやウォーキング等を始めるきっかけを作ります。	産業振興課 観光課 スポーツ振興課
ステップアップ教室の実施【再掲】	総合体育館において、高校生以上を対象にしたヨガやフラダンス、ピラティス等のフィットネスのほか、バドミントン、卓球等の少人数制の教室を実施します。また、子供を対象にしたダンス等の教室も実施します。	スポーツ振興課
親子でスポーツに親しむ機会の提供【再掲】	スポーツイベント等を通じて、親子で楽しめるスポーツを紹介し、体験することで、スポーツに親しむ機会の提供に努めます。	スポーツ振興課
ワーク・ライフ・バランス（※8）の推進	市民がスポーツに親しめる時間を拡充するため、ワーク・ライフ・バランスの推進に努めます。	協働推進課
かたくりの湯のプールを活用した教室の実施	水中ウォーキングやスイムレッスン等の教室等を実施し、市民の健康増進を図ります。	観光課
ウォーキングイベントの充実	ウォーキングイベントの内容を充実し、参加者の拡大を図ります。	観光課
健康に関する教室の開催	生活習慣病予防教室、骨粗しょう症予防教室、ヨガ体操教室、ピラティス教室、ウォーキング教室等を実施し、市民の生活習慣の改善を図ります。	健康推進課
身体活動量（※9）の増加の推進	日常生活における仕事、家事などの身体活動等の様々な面からの働きかけや正しい意識の啓発により身体活動量の増加を図ります。また、健康づくりの視点を取り入れたウォーキングマップの活用により、継続して運動を行うための支援をします。	健康推進課

（※8）ワーク・ライフ・バランス

→仕事と私生活の偏りをなくすこと。

（※9）身体活動量

→家事、庭仕事、通勤のための歩行などの日常生活活動、余暇に行う趣味・レジャー活動や運動・スポーツなどの「身体活動の強さ」×「行った時間」の合計のこと。

第2章 スポーツ推進施策の展開

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
成年のスポーツ実施率	66.4%	70%
観光・商業分野等と連携したスポーツイベントの開催	1事業	2事業

5 中高齢者スポーツの活動支援

現状と課題

本市が行ったアンケート調査結果においては、中高齢者の軽い運動やスポーツ実施率は約79%であり、週に1日～2日程度は何らかのスポーツを行っており、主に健康を意識した運動・スポーツが行われています。加齢に伴い健康と運動・スポーツへの関心が高くなることが伺えます。中高齢者がいつまでも健康で自立した生活を営むためにも運動・スポーツニーズに対応した施策の展開を図る必要があります。

具体的な取組と施策展開

取組名	内容	所管課
グラウンド・ゴルフ事業の実施	多くの中高齢者が行っているグラウンド・ゴルフの大会や総合型地域スポーツクラブが行うグラウンド・ゴルフの教室を継続して実施します。	スポーツ振興課
ニュースポーツ体験教室の実施【再掲】	スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験教室を引き続き開催し、参加者の増加を図ります。	スポーツ振興課
観光・商業分野等と連携したスポーツイベントの開催【再掲】	狭山丘陵、かたくりの湯等の観光スポットや地域ブランドを活用したスポーツイベントを開催します。 また、お薦めポイント等の紹介により気軽にジョギングやウォーキング等を始めるきっかけを作ります。	産業振興課 観光課 スポーツ振興課

取組名	内 容	所管課
ステップアップ教室の実施【再掲】	総合体育館において、高校生以上を対象にしたヨガやフラダンス、ピラティス等のフィットネスのほか、バドミントン、卓球等の少人数制の教室を実施します。また、子供を対象にしたダンス等の教室も実施します。	スポーツ振興課
かたくりの湯のプールを活用した教室の実施【再掲】	水中ウォーキングやスイムレッスン等の教室等を実施し、市民の健康増進を図ります。	観光課
老人クラブ活動の支援	高齢者が相互に交流を深めながら社会参加や自己実現、健康づくりなどが図れるよう老人クラブ活動を支援し、活動の活性化を促進します。	高齢福祉課
健康に関する教室の開催【再掲】	生活習慣病予防教室、骨粗しょう症予防教室、ヨガ体操教室、ピラティス教室、ウォーキング教室等を実施し、市民の生活習慣の改善を図ります。	健康推進課

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
グラウンド・ゴルフ大会の参加チーム数(上限)	70 チーム	90 チーム
ニュースポーツ体験教室の参加者数【再掲】	188 人	300 人
観光・商業分野等と連携したスポーツイベントの開催【再掲】	1 事業	2 事業

6 障害者スポーツの活動支援

現状と課題

現在、本市では、障害者を対象としたグラウンド・ゴルフ教室をスポーツ推進委員が中心となって毎月1回開催していますが、障害者が学校や地域でスポーツに親しむ環境が整っていないことなど、障害者スポーツには多くの問題が山積しています。障害者が健常者と一緒にスポーツを楽しめる環境づくりが必要となっています。

第2章 スポーツ推進施策の展開

具体的な取組と施策展開

取組名	内 容	所管課
心身障害者・児スポーツ教室の実施	心身障害者・児スポーツ教室を継続して実施します。	スポーツ振興課
心身障害者（児）グラウンド・ゴルフ教室の実施	心身障害者（児）グラウンド・ゴルフ教室を継続して実施します。	スポーツ振興課
障害者スポーツに関する資格の取得支援	障害者スポーツへの理解を深めるため、スポーツ推進委員の資格取得を支援します。	スポーツ振興課
障害者スポーツ事業の種目の検討	現在実施しているグラウンド・ゴルフだけでなく、ボッチャ等の種目の実施を検討します。	スポーツ振興課

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
心身障害者・児スポーツ教室の参加者数	162人	200人
障害者スポーツに関する資格を有するスポーツ推進委員数	0人	4人

7 生涯スポーツ指導者の育成

現状と課題

健康で豊かに暮らしたいという考えから生活の一部としてスポーツに取り組む人が増えており、専門的にスポーツ指導を行える人材が求められています。

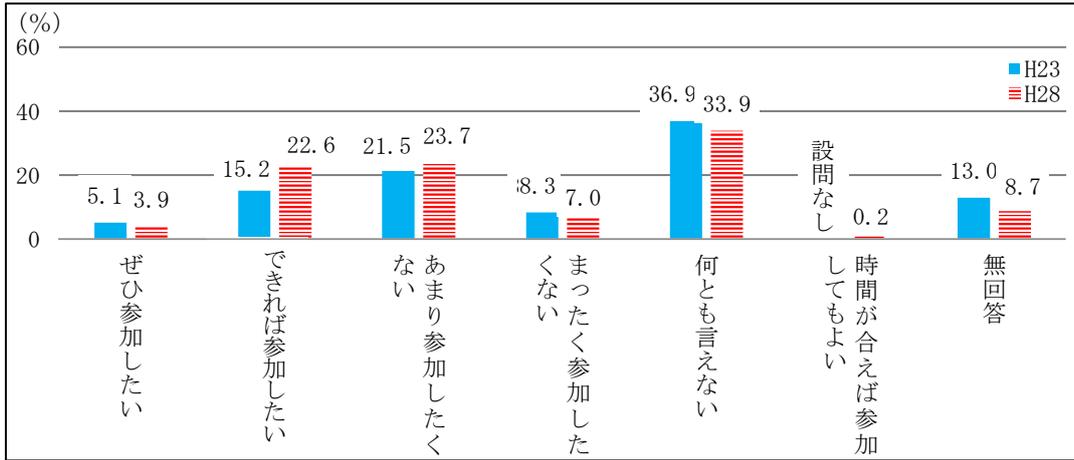
ニュースポーツ等の指導については、スポーツ推進委員が中心的役割を果たしているのが現状です。

本市が行ったアンケート調査結果においては、スポーツに関するボランティア活動への参加希望者は約27%であり、希望するボランティア活動内容は「指導・コーチ・審判」が約68%と多数となっています。

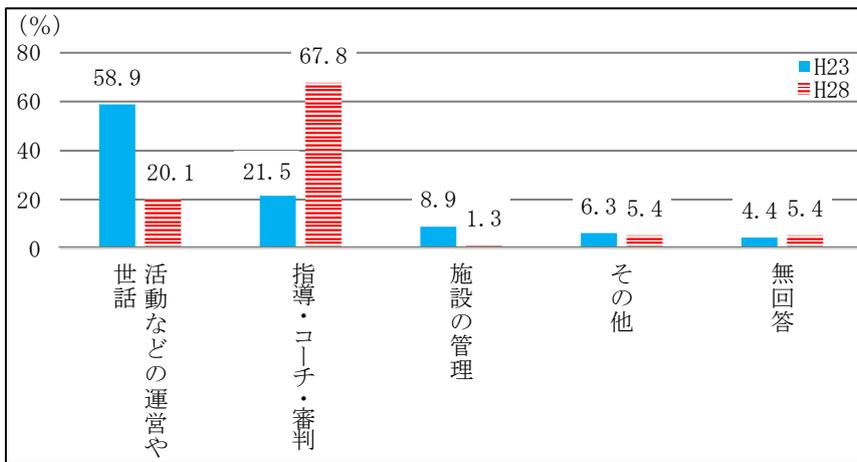
このことから、今後、地域で活躍している指導者、ボランティアを育成、活用するとともに、地域に埋もれている有資格者やスポーツボランティアの掘り起こしが課題となっています。

第2章 スポーツ推進施策の展開

アンケート調査 問24 「今後スポーツに関するボランティア活動に参加したいと思いますか？」



アンケート調査 問24-1 「主にどのようなボランティア活動ですか？」（1又は2と回答した方）



具体的な取組と施策展開

取組名	内容	所管課
指導者の確保・育成	各種研修会への派遣を行い、レクリエーションスポーツ等の指導者やスポーツ障害（※10）の予防などに対応できる指導者の確保・育成を行います。	スポーツ振興課
指導者やスポーツボランティアの募集・登録	指導者やスポーツボランティアの登録制度を創設し、募集を行うことで、地域に埋もれている有資格者やスポーツボランティアの掘り起こしを行います。	スポーツ振興課

（※10）スポーツ障害

→スポーツ（運動）をすることで起こる障害や外傷などの総称。

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
指導者研修会の派遣人数	0人	4人
指導者やスポーツボランティアの登録制度	—	創設

第2節

競技スポーツの充実・向上

競技スポーツは、技術・競技力の向上を図り、競技会等に参加してその成果を発表するものです。それぞれの選手の資質を最大限に引き出すことが大切であり、競技レベルに応じ組織的に育成していく指導体制の構築が必要です。

また、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、スポーツへの関心の高まりを捉えることで、本市の競技スポーツ及び障害者スポーツの更なる充実・向上、スポーツ組織の充実などが期待されます。

1 競技スポーツ団体等の活性化の推進

現状と課題

本市の競技スポーツは、体育協会に加盟する団体及び地域のスポーツ団体を中心に行われています。平成29年3月時点で体育協会への加盟団体は23団体で、会員数は約4,200人となっています。体育協会については、今後も市のスポーツ振興の中核的担い手となることが期待されていることから、組織力の一層の向上や法人格の取得などに向けた取組が求められています。

また、近年、一般部門のほか、シルバー（マスターズ）部門やジュニア部門など幅広い世代で競技スポーツが活発になっており、それらの受け皿となる団体の組織化の重要性が増しています。

加えて、体育協会などに所属しないスポーツ団体の活動状況の把握やそうした団体との連携、支援などの取組も調査、研究していく必要があります。

具体的な取組と施策展開

取組名	内 容	所管課
競技スポーツ団体等への支援	体育協会と連携し、競技スポーツ団体等の実態の把握に努め、活動の場の提供や指導者派遣を行い、競技スポーツ団体等を支援します。	スポーツ振興課
各世代における競技スポーツの推進	体育協会や競技スポーツ団体等と連携し、初心者・ジュニア教室、講習会などの実施により、競技スポーツを行いたい各世代の受入れを推進します。	スポーツ振興課
武蔵村山市スポーツ少年団への活動支援【再掲】	スポーツ大会への参加や講演会の開催を支援します。また、研修会等へ人員を派遣し、指導者の確保・育成を行います。	スポーツ振興課

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
体育協会への加盟団体数	23 団体	25 団体
体育協会主催の競技スポーツの初心者・ジュニア教室、講習会の実施団体数	7 団体	10 団体
武蔵村山市スポーツ少年団 単位スポーツ少年団の登録数【再掲】	1 団体	6 団体

2 競技スポーツ大会の充実

現状と課題

本市では、市民総合体育大会をはじめ、幅広い分野で、幅広い世代の市民を対象とした競技スポーツ大会を体育協会と連携して開催しています。

競技スポーツ志向の選手にとって、競技会に出場し、他の選手と力を競うことは大きなモチベーションの向上につながります。

このため、今後も障害者の大会を含め、競技スポーツ大会の開催回数を増やし、競技スポーツ種目の充実に努めます。

具体的な取組と施策展開

取組名	内 容	所管課
既存の競技スポーツ大会等の充実	市民総合体育大会等既存の競技スポーツ大会への参加者・団体の拡充と参加の促進を図ります。	スポーツ振興課
新たな競技スポーツ大会等の開催	体育協会と連携して、中高齢者部門、ジュニア部門、障害者部門など新たな競技スポーツ大会の開催を推進します。	スポーツ振興課

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
競技スポーツ種目数	23 種目	25 種目
近隣市と連携した競技スポーツ大会の開催	—	開催

3 競技スポーツ環境の充実

現状と課題

競技スポーツ志向の選手にとって、競技力、技術力の向上は大変重要な問題です。このため、競技スポーツ志向の選手が所属する団体は、優れた指導者を確保したり、選手を講習会や練習会に派遣したりすることが求められます。

このほか、トップアスリートを招いた講習会や練習会などを開催し、指導者の育成、有望選手の発掘などの取組が必要となります。

具体的な取組と施策展開

取組名	内 容	所管課
全国大会等出場者への支援	全国大会等出場者が増加していることから、引き続き支援を充実します。	スポーツ振興課
指導力を有する人材の確保・育成、指導者の資質向上	指導力の高い人材の確保・育成に努めます。また、スポーツ障害の予防やメンタルトレーニング方法等の講習会を実施し、指導者の資質向上を目指します。	スポーツ振興課
競技スポーツ団体等への支援【再掲】	体育協会と連携し、競技スポーツ団体等の実態の把握に努め、活動の場の提供や指導者派遣を行い、競技スポーツ団体等を支援します。	スポーツ振興課
各世代における競技スポーツの推進【再掲】	体育協会や競技スポーツ団体等と連携し、初心者・ジュニア教室、講習会などの実施により、競技スポーツを行いたい各世代の受入れを推進します。	スポーツ振興課
武蔵村山市スポーツ少年団への活動支援【再掲】	スポーツ大会への参加や講演会の開催を支援します。また、研修会等へ人員を派遣し、指導者の確保・育成を行います。	スポーツ振興課
部活動への支援	中学校に部活動外部指導員を派遣し、技能面や戦術面の支援を行い、部活動の強化と一層の活性化を図ります。	教育指導課

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
全国大会等出場回数	9回	12回
指導者講習会の実施	—	1回
体育協会への加盟団体数【再掲】	23団体	25団体

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
体育協会主催の競技スポーツの初心者・ジュニア教室、講習会の実施団体数【再掲】	7 団体	10 団体
武蔵村山市スポーツ少年団単位スポーツ少年団の登録数【再掲】	1 団体	6 団体

4 東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とするスポーツの推進

現状と課題

平成32年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されることとなり、今後、更にはその機運が盛り上がることが予想されます。

本市が行ったアンケート調査結果においては、東京オリンピック・パラリンピックの開催で期待することについて、「スポーツの普及・発展」、「スポーツへの関心の向上」が多く挙げられました。

アクション(※11) & レガシー(※12)を理念とする東京オリンピック・パラリンピックの開催は、普段スポーツを行う人も行わない人もスポーツを観戦する機会が増えることで、スポーツを行うきっかけにつながり、本市の競技スポーツ、障害者スポーツの更なる充実・向上、スポーツ組織の充実が期待されます。

また、本市では、東京オリンピック・パラリンピックの開催を子供たちの人生にとってまたとない貴重な機会と捉え、オリンピック・パラリンピック教育を市内の小・中学校で展開しています。

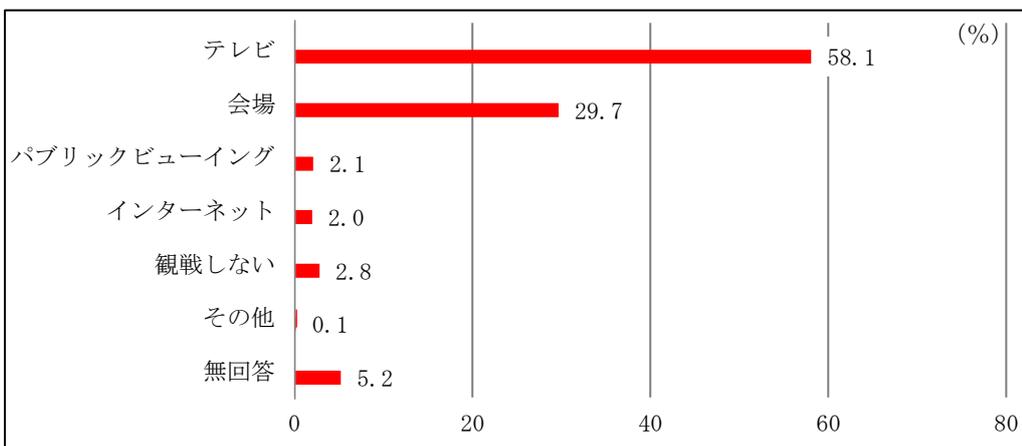
(※11) **アクション**

→東京オリンピック・パラリンピックに一人でも多くの方に参画してもらうこと。

(※12) **レガシー**

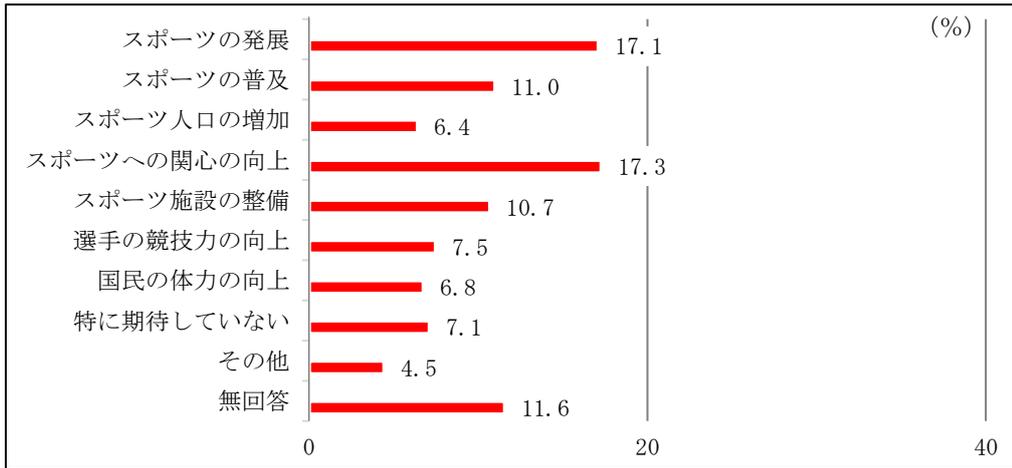
→東京オリンピック・パラリンピックをきっかけにした成果を未来につなげること。

アンケート調査 問33 「東京2020オリンピック・パラリンピックをどのように観戦したいですか？」



第2章 スポーツ推進施策の展開

アンケート調査 問36「東京2020オリンピック・パラリンピックの開催で期待することは何ですか？」



具体的な取組と施策展開

取組名	内容	所管課
競技スポーツの推進	体育協会等と連携し、トップアスリートとスポーツができる機会を作り、競技スポーツを推進します。	スポーツ振興課
障害者スポーツの推進	障害者スポーツの指導者の確保・育成により、障害者スポーツを普及させるだけでなく、大会等への出場など障害者が挑戦できる環境を整えます。	スポーツ振興課
東京オリンピック・パラリンピックの観戦イベントの開催	東京オリンピック・パラリンピックのパブリックビューイング ^(※13) のイベントを開催し、スポーツ実施率の向上、参加者同士の交流を目指します。	スポーツ振興課
指導力を有する人材の確保・育成、指導者の資質向上【再掲】	指導力の高い人材の確保・育成に努めます。また、スポーツ障害の予防やメンタルトレーニング方法等の講習会を実施し、指導者の資質向上を目指します。	スポーツ振興課
指導者やスポーツボランティアの募集・登録【再掲】	指導者やスポーツボランティアの登録制度を創設し、募集を行うことで、地域に埋もれている有資格者やスポーツボランティアの掘り起こしを行います。	スポーツ振興課
スポーツ志向の醸成	様々なスポーツを体験する機会を設定し、フェアプレーやチームワークの精神、体力向上や健康づくりに意欲的に取り組む態度を養います。	教育指導課
障害者理解教育の推進	障害者スポーツの体験や交流など障害者理解を進める教育を一層充実させ、多様性を尊重し、心のバリアフリーを子供たちに浸透させます。	教育指導課

(※13) パブリックビューイング

→スポーツ施設などで大型映像装置を使用して多数の人でスポーツ観戦等を行うこと。

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
東京オリンピック・パラリンピックのスポーツ観戦希望者割合	91.9%	95%
成年のスポーツ実施率 【再掲】	66.4%	70%
体育協会主催の競技スポーツの初心者・ジュニア教室、講習会の実施団体数【再掲】	7団体	10団体

第3節

スポーツ施設等の整備・充実

本市には、スポーツ施設として、体育館、運動場、野球場、庭球場、プールなどがあります。

また、これらのスポーツ施設は、学校体育施設、大学・高等学校の体育施設、公共のスポーツ施設、職場スポーツ施設、民間スポーツ施設等に分けられますが、このうち、各種スポーツ団体が活動拠点として最も利用しやすいのは、公共のスポーツ施設といえます。

1 公共のスポーツ施設等の整備・充実

現状と課題

本市の主な公共のスポーツ施設としては、総合体育館のほか、総合運動公園運動場、雷塚公園と大南公園内の野球場・庭球場、三ツ木庭球場、野山北公園運動場、野山北公園プールがあり、平成28年度には、公共のスポーツ施設利用者の利便性の向上を目指し、公共施設予約システムを導入しました（野山北公園プールを除く。）。

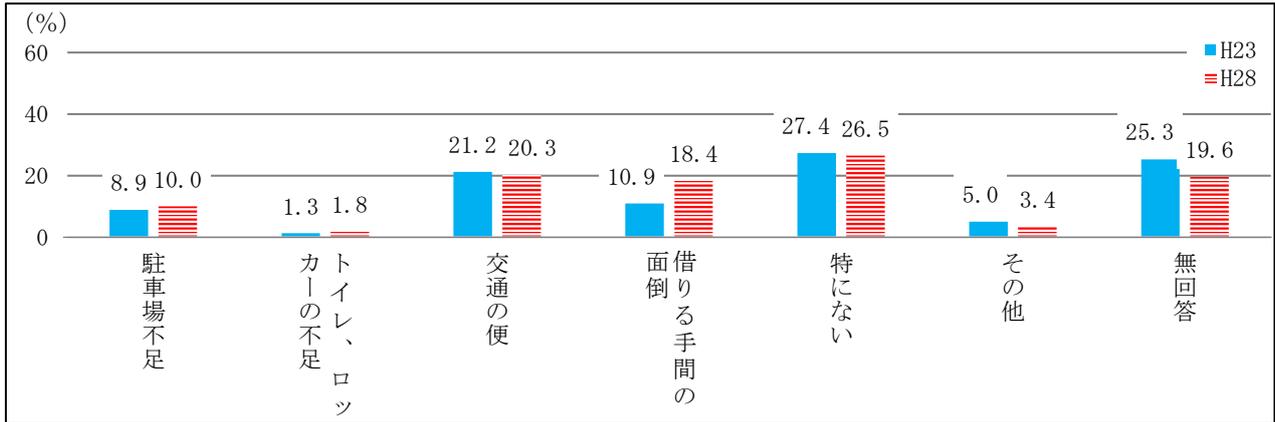
市では、平成25年度の三ツ木庭球場の新設や平成21年度からの東京経済大学武蔵村山キャンパス内の室内プールを借り受け、開設する東京経済大学室内プール開放事業により、市民の体力の向上及び健康の増進を図る一方、市営プールは平成24年度の大南公園プールの閉鎖により、野山北公園プールのみの開設となりました。しかし、野山北公園プールは、昭和52年の開設以来、約40年が経過している施設であり、老朽化に伴い補修等対策が必要となっています。

本市が行ったアンケート調査において、「市内のスポーツ施設を利用する際、不満や不便だと感じていること」について尋ねたところ、「特にない」が最も多くなっていますが、次いで「交通の便」が多く挙げられています。

さらに、「市内に建築・増設してほしいと思うスポーツ施設」について尋ねたところ、平成23年は「プール（屋外・屋内）」に次いで「テニスコート」が多く要望されたのに対し、平成28年では、「プール（屋外・屋内）」のほかに「各地区の施設の充実」、「グラウンド・ゴルフ場」、「小運動場」などの要望が挙げられており、健康志向での運動やレクリエーションスポーツなど身近に楽しめる運動が求められている一方、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機にスポーツ施設の充実を期待する意見もあり、多様なニーズに対応していく必要があります。

第2章 スポーツ推進施策の展開

アンケート調査 問20「市内のスポーツ施設を利用する際、不満や不便だと感じていることは何ですか？」



具体的な取組と施策展開

取組名	内容	所管課
総合体育館の適正な管理運営	総合体育館について、指定管理者制度を継続し、モニタリングを適正に実施し、施設の適正な管理運営に努め、利用者の増加を図ります。	スポーツ振興課
野山北公園プールの整備	野山北公園プールの機能の充実、修繕等対策に努めます。	スポーツ振興課
フットサルコート等の整備の検討	市内にフットサルコートがないことから、その整備の検討を行います。	スポーツ振興課
総合運動公園の整備の検討	総合運動公園利用者の利便性の向上のため、駐車場の拡充等について検討を行います。	都市計画課 スポーツ振興課
公共のスポーツ施設等へのアクセスの充実	市内の主要な施設や市外の鉄道駅を結んで運行する市内循環バスについて、引き続き総合体育館をはじめとする各公共のスポーツ施設と接続する公共交通として維持します。 また、公共のスポーツ施設等へのアクセスを含めた交通需要を勘案しながら、バス事業者や関係機関と連携し、利便性の高い公共交通への改善に努めます。	都市計画課

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
総合体育館利用者数	84,724人	90,000人
総合運動公園運動場(第一)の観覧席の拡充	208席	拡充
屋外グラウンドの防球ネットの整備	—	整備

第2章 スポーツ推進施策の展開

公共のスポーツ施設等の概要

現在、市内に設置されている主要な公共のスポーツ施設等は、下表のとおりです。

施設名		面積 (㎡)	備考
総合体育館	第一体育室	1,900.00	バスケットボール2面、バレーボール3面、バドミントン8面
	第二体育室	250.00	剣道、空手、軽体操等
	第三体育室	250.00	柔道、合気道等
	幼児体育室	70.00	幼児の自由遊び
	ランニング走路	256.00	一周160m
	トレーニング室	160.00	
総合運動公園運動場	第1運動場	20,254.00	野球 右翼92m、左翼98m
	第2運動場	17,435.00	300mトラック、陸上、サッカー等
	第3運動場	5,001.50	少年野球
雷塚公園	野球場	7,817.65	野球 両翼81.5m
	庭球場	2,138.85	クレークコート3面
大南公園	野球場	7,161.43	野球 両翼81m、ナイター
	庭球場	2,117.67	クレークコート3面
三ツ木庭球場		2,384.37	オムニコート2面
野山北公園運動場		6,656.00	多目的グラウンド
野山北公園プール		3,425.17	25m×13m 6コース 幼児用プール190㎡
東京経済大学武蔵村山キャンパス室内プール(借り受け)			東京経済大学室内プール開放事業(毎年5月1日から10月31日までの間の日曜日及び祝日) 25m×14.2m 6コース

2 学校体育施設の整備・充実

現状と課題

小・中学校の学校体育施設は、学校教育に支障のない範囲で市民のスポーツ活動の場として、市民に開放しています。

平成28年度には、学校体育施設の有料化により、各団体等が使用するコマ数が明確化され、市民がより効率的に使用できるよう環境の整備を行いました。

具体的な取組と施策展開

取組名	内 容	所管課
学校体育施設の開放	学校教育に支障のない範囲で、学校施設を引き続き市民に広く開放します。	教育総務課 スポーツ振興課
学校体育施設の開放に係る効率的な管理運営	学校施設の開放に際し、一層の有効活用を図るため、施設予約受付方法の改善など効率的な管理運営を図ります。	スポーツ振興課
器具・備品の充実	市民がより利用しやすく、多種目のスポーツが行えるよう、器具・備品の充実に努めます。	スポーツ振興課

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
学校体育施設の使用団体数	124 団体	150 団体
学校体育施設の器具・備品の充実	—	充実

3 公園・広場等の整備・充実

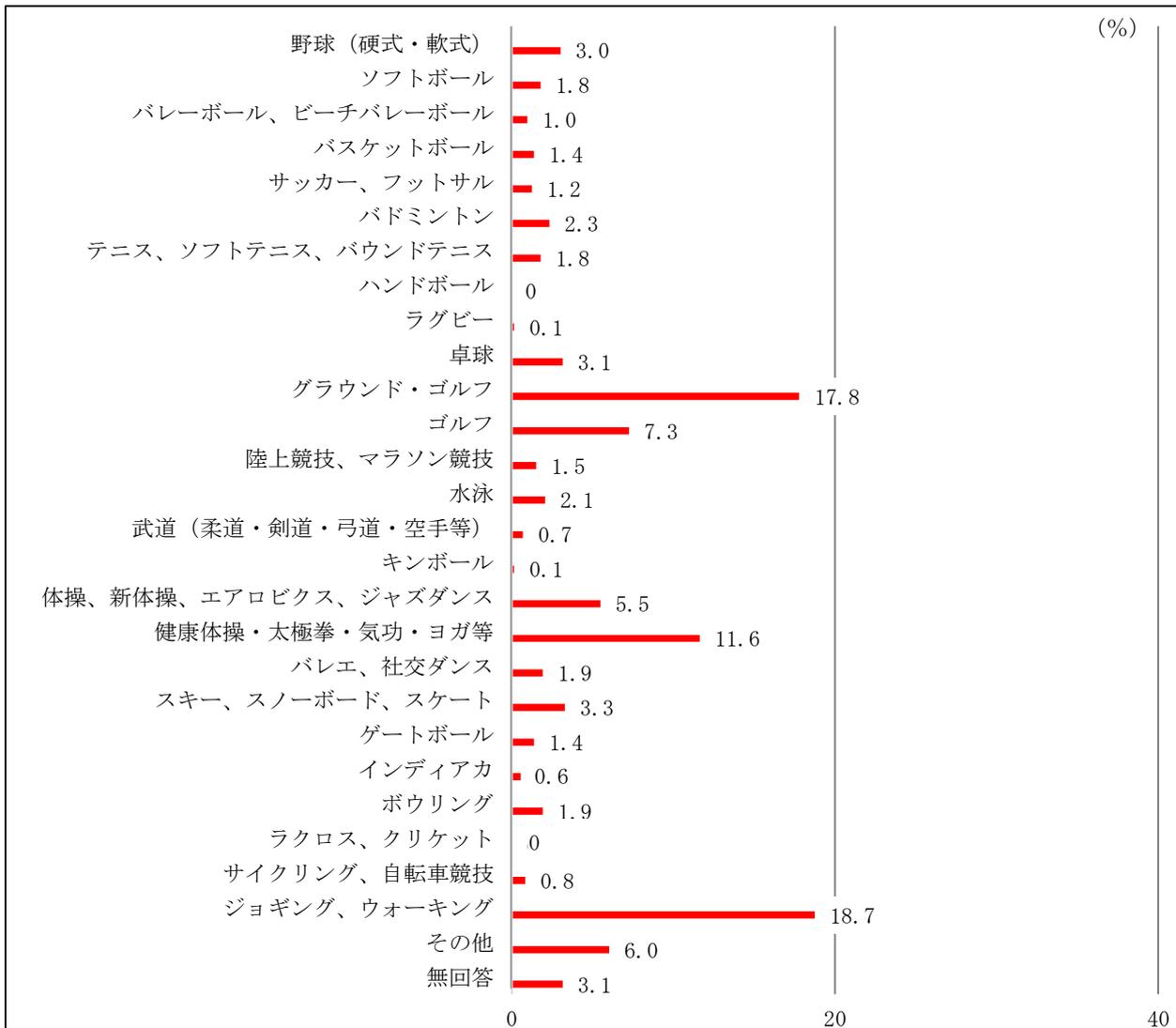
現状と課題

本市が行ったアンケート調査において、「現在、特に行っているスポーツ」を尋ねたところ、1番目に「ジョギング、ウォーキング」、2番目に「グラウンド・ゴルフ」、3番目に「健康体操・太極拳・気功・ヨガ等」とレクリエーションスポーツが上位を占めています。このことから、市民は、身近な公園や広場等、室内にあっては地区会館等を利用していることが伺えます。

また、市民が気軽に運動ができるよう、健康遊具の設置を推進するなど既存の施設の整備や充実を図っていく必要があります。

第2章 スポーツ推進施策の展開

アンケート調査 問15「現在、特に行っているスポーツは何ですか？（複数回答あり）」（平成28年度）



具体的な取組と施策展開

取組名	内容	所管課
健康遊具の整備の推進	地域運動場、公園・広場等への健康遊具の設置を推進します。	環境課 スポーツ振興課
地域運動場、公園・広場の整備	日常生活圏における運動の機会を確保するため、地域運動場、公園・広場の整備・充実に努めます。	環境課
地区会館等の利用の推進	軽スポーツ等室内で行うスポーツに対し、地区会館等での利用を推進します。	文化振興課

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
健康遊具の整備	35台	拡充

第4節 スポーツ推進への行政の関わりの強化・充実

市民のだれもが、どこでも、いつでも、いつまでもスポーツを楽しめるように、また、スポーツや健康づくりに関心を持てるように、市民と行政がそれぞれ果たすべき役割を担っていくことが重要です。

1 スポーツへの参加支援

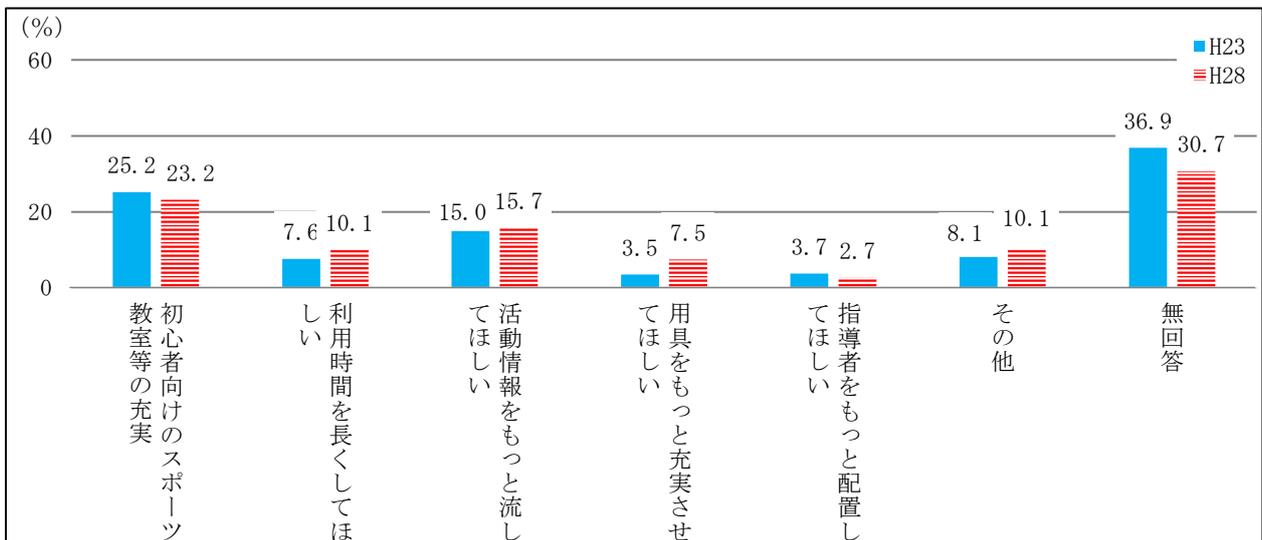
現状と課題

本市が行ったアンケート調査において、「スポーツ施設に望むこと」を尋ねたところ、1番目に「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ教室等の充実」、2番目に「活動情報をもっと流してほしい」となっています。

本市では、多世代の市民を対象にスポーツ事業や教室を開催しています。スポーツの推進を図るためには、スポーツをしていない市民の参加を促進し、市民が気軽にスポーツのできる環境を整えることが重要であり、平成28年度には、公共施設予約システムを導入し、公共のスポーツ施設利用者の利便性の向上に努めています。

また、平成26年10月にはスポーツへの関心を高め、スポーツ活動への参加を支援するため、「スポーツ都市宣言」を行いました。これを記念し、毎年10月には「スポーツ都市宣言記念事業」を開催しています。

アンケート調査 問21「スポーツ施設に望むことは何ですか？」



具体的な取組と施策展開

取組名	内容	所管課
スポーツに係る情報の収集・提供	スポーツに関わる情報の収集・提供の体制を整備し、市民のスポーツや健康に対する意識の向上を推進します。	スポーツ振興課

第2章 スポーツ推進施策の展開

取組名	内 容	所管課
ステップアップ教室の実施【再掲】	総合体育館において、高校生以上を対象にしたヨガやフラダンス、ピラティス等のフィットネスのほか、バドミントン、卓球等の少人数制の教室を実施します。また、子供を対象にしたダンス等の教室も実施します。	スポーツ振興課
総合型地域スポーツクラブのPR【再掲】	広報紙、ホームページ、SNS等を活用し、市民の認知度の向上や活動情報の提供に努めます。	スポーツ振興課
各世代における競技スポーツの推進【再掲】	体育協会や競技スポーツ団体等と連携し、初心者・ジュニア教室、講習会などの実施により、競技スポーツを行いたい各世代の受入れを推進します。	スポーツ振興課
健康に関する教室の実施【再掲】	生活習慣病予防教室、骨粗しょう症予防教室、ヨガ体操教室、ピラティス教室、ウォーキング教室等を実施し、市民の生活習慣の改善を図ります。	健康推進課

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
体育協会主催の競技スポーツの初心者・ジュニア教室、講習会の実施団体数【再掲】	7 団体	10 団体

2 スポーツ情報の提供

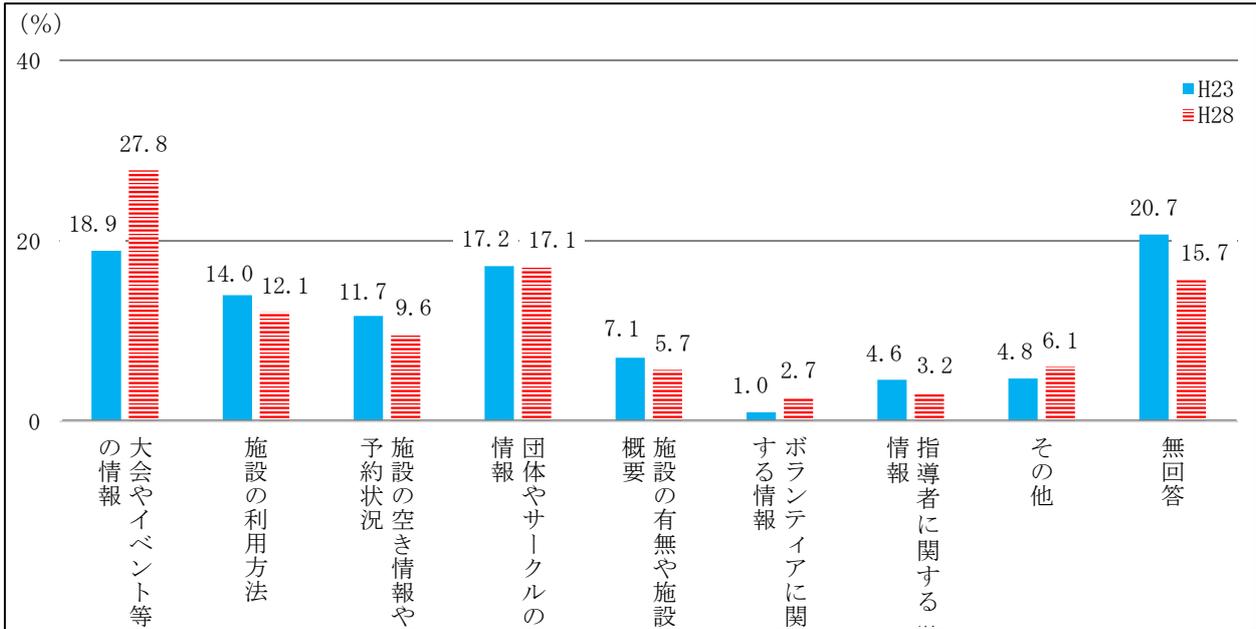
現状と課題

市民へのスポーツ情報を提供する方法としては、現在、市報、スポーツ施設の案内パンフレット、市ホームページ、SNS等があります。

普段、スポーツを行わない人がスポーツを始めたいと思うきっかけには、気軽さ、楽しさといった要素が重要です。

このことから、市民のスポーツの推進を図るには、市長部局や関係団体との連携を図りながら、競技スポーツ及びレクリエーションスポーツに関する情報の収集及び提供・発信が必要です。

アンケート調査 問29 「知りたい市のスポーツ情報は何ですか？」



具体的な取組と施策展開

取組名	内 容	所管課
市長部局と連携したスポーツ情報の提供	市報、スポーツ施設の案内パンフレット、市ホームページ、SNSによる情報提供を行うとともに、市長部局と連携し、情報の拡大を図ります。	秘書広報課 スポーツ振興課
関係団体と連携したスポーツ情報の提供	総合型地域スポーツクラブや体育協会等と連携し、スポーツ情報の提供に努めます。	スポーツ振興課
スポーツ功労者や全国大会出場者等の顕彰	スポーツ功労者や全国大会出場者等の功績を称えるとともに広く周知するため、顕彰制度を創設します。	スポーツ振興課

到達目標

項目	現状 (平成28年度)	目標 (平成33年度)
近隣市や東京都と連携したスポーツ情報の提供手段の増加	2種類 (ちらし、ポスター)	4種類 (ちらし、ポスター、SNS、ホームページ)
スポーツ功労者や全国大会出場者等の顕彰制度	—	創設

資料編

- 1 スポーツ都市宣言
- 2 アンケート調査概要
- 3 アンケート調査結果
- 4 武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会
 - (1) 武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱
 - (2) 武蔵村山市スポーツ推進計画改訂版策定経過
 - (3) 武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会委員名簿

1 スポーツ都市宣言

2014

武蔵村山市 スポーツ都市宣言



私たち武蔵村山市民は、緑豊かな狭山丘陵のもと、生涯を通じてスポーツを愛し、スポーツに親しむことにより、健康で豊かな心とからだを育み、明るく活力に満ちた、武蔵村山市を築くため、ここにスポーツ都市を宣言します。

- 1 スポーツに親しみ、健康でいきいきとした心とからだをつくりましょう。
- 1 スポーツを実践し、自分を鍛え、強い心とからだをつくりましょう。
- 1 スポーツを楽しみ、わくわくした明るい毎日をすごしましょう。
- 1 スポーツを通じ、地域の絆を育み、友情の輪をひろげましょう。
- 1 スポーツを愛し、すべての市民が夢や希望を持つことのできる活力に満ちたまちをつくりましょう。

平成26年10月5日

スポーツだいすき むさしむらやま

2 アンケート調査概要

(1) 調査目的

市民の健康増進と体力の向上を目指し、スポーツ・レクリエーションの普及や市民の生涯スポーツ活動を計画的に推進するためのアクションプランとして、平成24年3月に「武蔵村山市スポーツ推進計画」を策定しました。

同計画では、平成25年度の国体開催に向けた基本施策などが盛り込まれていますが、国体も終了し、また、策定以降、平成32年のオリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定したことや、本市でも総合型地域スポーツクラブの創設や三ツ木庭球場の開設、さらに平成26年度のスポーツ都市宣言など多様な動きがあったことから、これらを踏まえた内容に改定をしていく必要があります。市民のスポーツレクリエーションに対するニーズやスポーツ実施率の把握に努め、計画に反映するための基礎資料とすることを目的としています。

(2) 調査対象

- ア 武蔵村山市に居住する18歳以上の者
- イ 市内公共施設15か所

(3) 調査期間

平成28年12月5日から同月20日まで

(4) 配布数

2,000部

(5) 調査内容

- ア 健康・体力に関する意識について
- イ 運動・スポーツに関する意識・実施状況について
- ウ スポーツボランティアについて
- エ スポーツ施設について
- オ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について

(6) 回答状況

スポーツ・レクリエーションの活動実態や今後の活動動向等についてお聞きしました。

回答人数 561人（回収率28%）

区 分	西部地区		中部地区		東部地区		合 計	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
18歳～ 29歳	9	1.6	11	2.0	8	1.4	28	5.0
30歳～ 39歳	28	5.0	16	2.9	12	2.1	56	10.0
40歳～ 49歳	19	3.4	38	6.8	18	3.2	75	13.4
50歳～ 59歳	22	3.9	18	3.2	30	5.4	70	12.5
60歳～ 69歳	32	5.7	37	6.6	45	8.0	114	20.3
70歳 以上	41	7.3	67	11.9	110	19.6	218	38.8
合 計	151	26.9	187	33.4	223	39.7	561	100

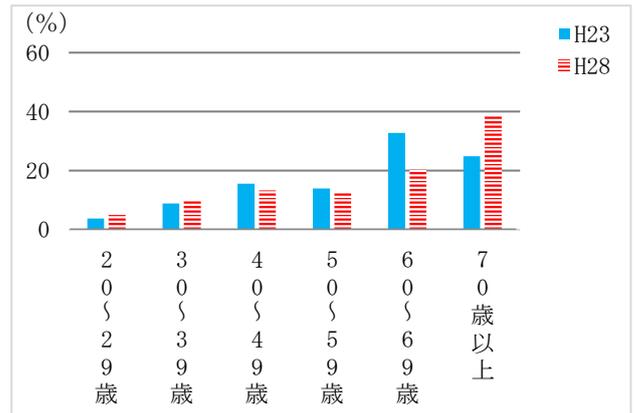
西部地区 岸、三ツ木、伊奈平、中原、残堀
 中部地区 中藤、中央、本町、三ツ藤、榎
 東部地区 神明、学園、大南、緑が丘

資料編

3 アンケート調査結果

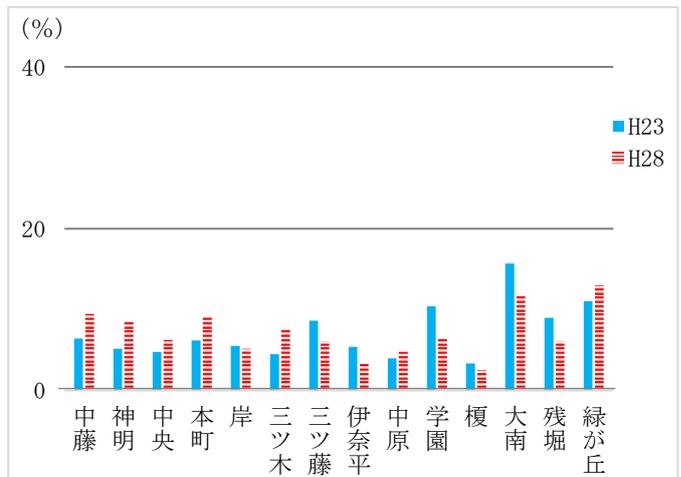
問1 年齢を教えてください。

		平成 23 年		平成 28 年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	18～29 歳	30	3.9	28	5.0
2	30～39 歳	69	8.9	56	10.0
3	40～49 歳	121	15.5	75	13.4
4	50～59 歳	109	14.0	70	12.5
5	60～69 歳	255	32.8	114	20.3
6	70 歳以上	194	24.9	218	38.8



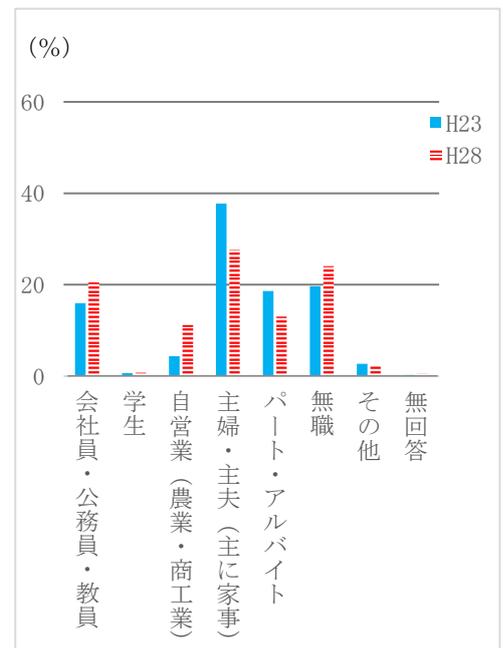
問2 どこの地区にお住まいですか？

		平成 23 年		平成 28 年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	中藤	50	6.4	53	9.4
2	神明	40	5.1	48	8.5
3	中央	37	4.8	35	6.2
4	本町	48	6.2	51	9.1
5	岸	43	5.5	29	5.2
6	三ツ木	35	4.5	42	7.5
7	三ツ藤	67	8.6	34	6.1
8	伊奈平	42	5.4	19	3.4
9	中原	31	4.0	27	4.8
10	学園	81	10.4	36	6.4
11	榎	26	3.3	14	2.5
12	大南	122	15.7	66	11.8
13	残堀	70	9.0	34	6.1
14	緑が丘	86	11.1	73	13.0



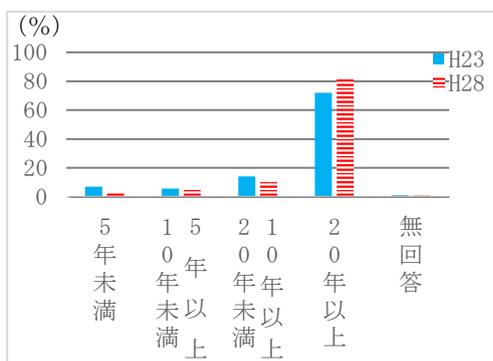
問3 職業を教えてください。

		平成 23 年		平成 28 年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	会社員・公務員・教員	124	15.9	115	20.5
2	学生	5	0.6	4	0.7
3	自営業（農業・商工業）	34	4.4	63	11.2
4	主婦・主夫（主に家事）	294	37.8	155	27.6
5	パート・アルバイト	145	18.6	73	13.0
6	無職	153	19.7	135	24.1
7	その他	21	2.7	13	2.3
8	無回答	2	0.3	3	0.6



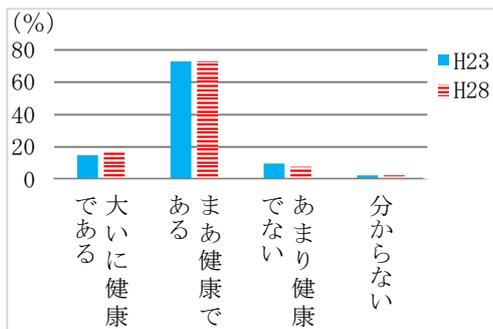
問4 武蔵村山市にどのくらい住んでいますか？

		平成 23 年		平成 28 年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	5年未満	55	7.1	15	2.7
2	5年以上 10年未満	45	5.8	28	5.0
3	10年以上 20年未満	110	14.1	57	10.1
4	20年以上	560	72.0	456	81.3
5	無回答	8	1.0	5	0.9



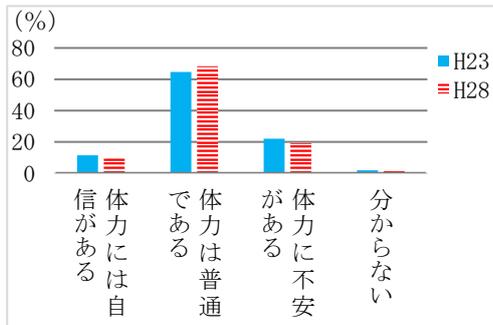
問5 御自分の健康について、どのように感じていますか？

		平成 23 年		平成 28 年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	大いに健康である	115	14.8	94	16.8
2	まあ健康である	568	73.0	409	72.9
3	あまり健康でない	76	9.8	44	7.8
4	分からない	19	2.4	14	2.5



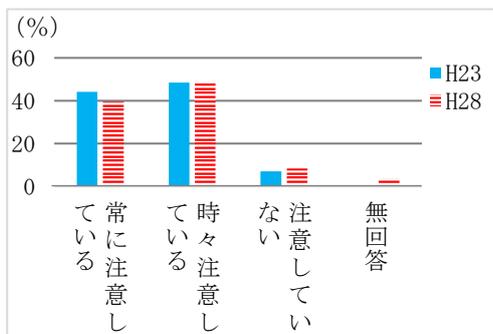
問6 御自分の体力について、どのように思っていますか？

		平成 23 年		平成 28 年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	体力には自信がある	89	11.4	56	10.0
2	体力は普通である	503	64.7	383	68.3
3	体力に不安がある	172	22.1	108	19.2
4	分からない	14	1.8	14	2.5



問7 健康保持・体力増進に注意していますか？

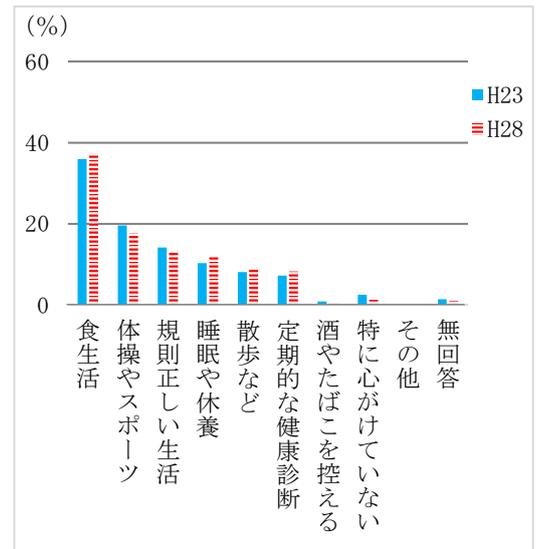
		平成 23 年		平成 28 年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	常に注意している	343	44.1	222	39.6
2	時々注意している	377	48.4	273	48.6
3	注意していない	55	7.1	47	8.4
4	無回答	3	0.4	19	3.4



資料編

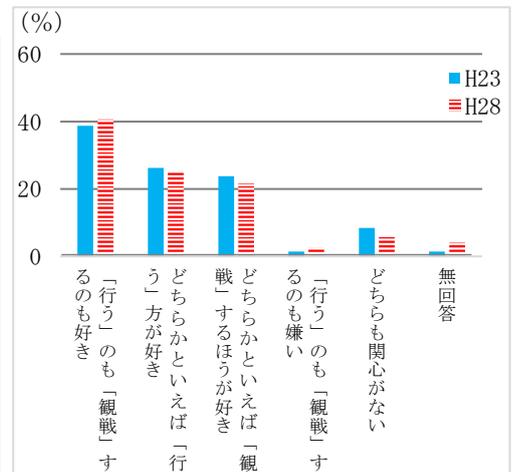
問7-1 特に、どのようなことに注意していますか？（1又は2と回答した方）

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	食生活	259	36.0	184	37.2
2	体操やスポーツ	141	19.6	87	17.6
3	規則正しい生活	102	14.2	65	13.1
4	睡眠や休養	74	10.3	59	11.9
5	散歩など	58	8.0	44	8.9
6	定期的な健康診断	52	7.2	41	8.3
7	酒やたばこを控える	6	0.8	3	0.6
8	特に心がけていない	18	2.5	6	1.2
9	その他	0	0	1	0.2
10	無回答	10	1.4	5	1.0



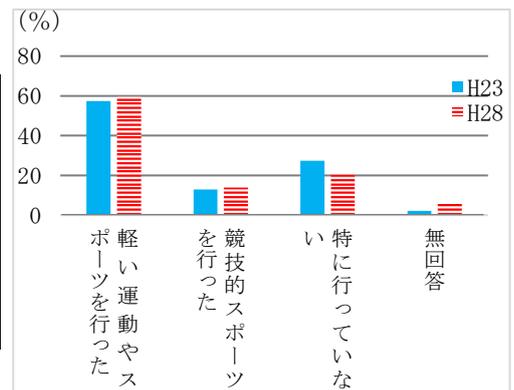
問8 スポーツを行ったり観戦したりすることが好きですか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	「行う」のも「観戦」するのも好き	301	38.7	228	40.6
2	どちらかといえば「行う」方が好き	204	26.2	141	25.1
3	どちらかといえば「観戦」するほうが好き	185	23.8	121	21.6
4	「行う」のも「観戦」するのも嫌い	11	1.4	14	2.5
5	どちらも関心がない	66	8.5	34	6.1
6	無回答	11	1.4	23	4.1



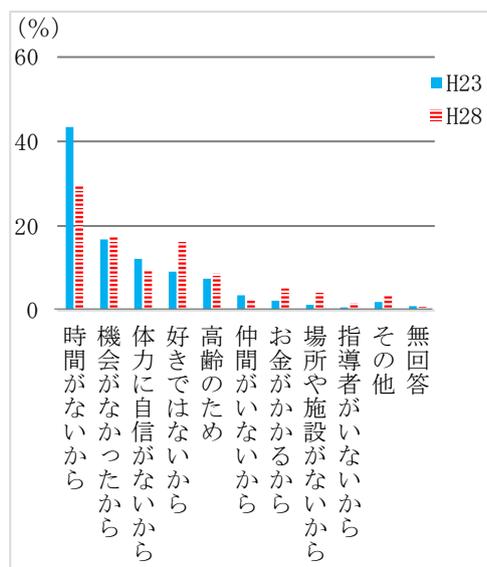
問9 過去1年位の間に何らかのスポーツを行いましたか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	軽い運動やスポーツを行った	447	57.4	335	59.7
2	競技的スポーツを行った	101	13.0	78	13.9
3	特に行っていない	213	27.4	115	20.5
4	無回答	17	2.2	33	5.9



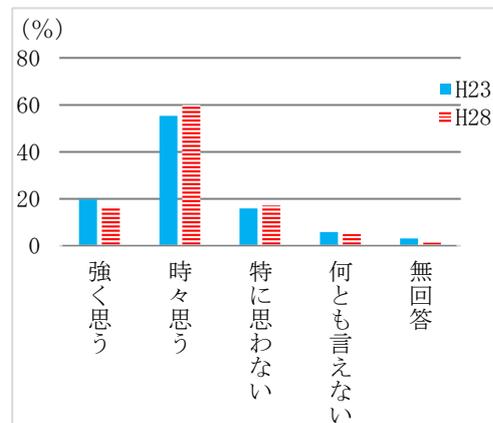
問9-1 なぜスポーツを行わなかったのですか？（3と回答した方）

		平成23年 (複数回答あり)		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	時間がないから	132	43.4	34	29.6
2	機会がなかったから	51	16.8	20	17.4
3	体力に自信がないから	37	12.2	11	9.6
4	好きではないから	28	9.2	19	16.5
5	高齢のため	23	7.5	10	8.7
6	仲間がいないから	11	3.6	3	2.6
7	お金がかかるから	7	2.3	6	5.2
8	場所や施設がないから	4	1.3	5	4.3
9	指導者がいないから	2	0.7	2	1.7
10	その他	6	2.0	4	3.5
11	無回答	3	1.0	1	0.9



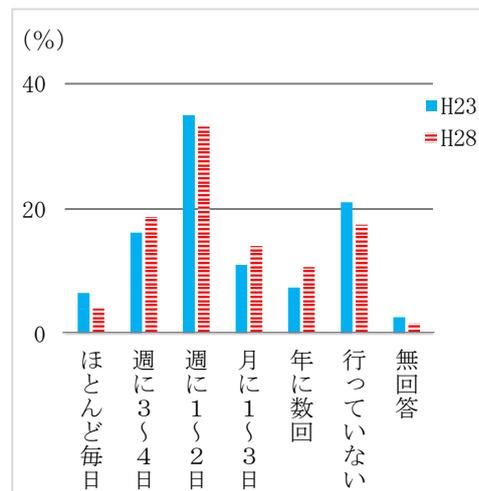
問10 普段、もっとスポーツを行いたいと思うことはありますか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	強く思う	153	19.7	93	16.6
2	時々思う	430	55.3	336	59.9
3	特に思わない	124	15.9	96	17.1
4	何とも言えない	46	5.9	28	5.0
5	無回答	25	3.2	8	1.4



問11 現在、どの程度スポーツを行っていますか？

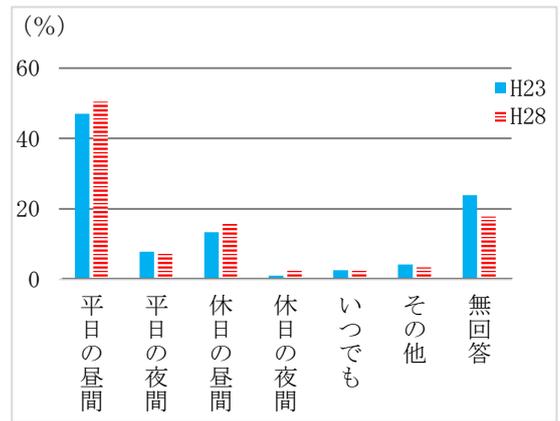
		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	ほとんど毎日	51	6.6	23	4.1
2	週に3～4日	126	16.2	105	18.7
3	週に1～2日	272	35.0	186	33.1
4	月に1～3日	86	11.0	79	14.1
5	年に数回	58	7.4	60	10.7
6	行っていない	164	21.1	98	17.5
7	無回答	21	2.7	10	1.8



資料編

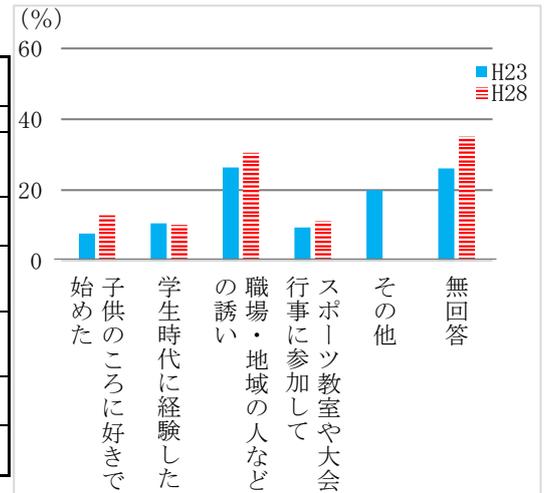
問12 スポーツを行っている時間帯は？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	平日の昼間	366	47.1	283	50.4
2	平日の夜間	61	7.8	43	7.7
3	休日の昼間	104	13.4	88	15.7
4	休日の夜間	8	1.0	14	2.5
5	いつでも	20	2.6	14	2.5
6	その他	33	4.2	19	3.4
7	無回答	186	23.9	100	17.8



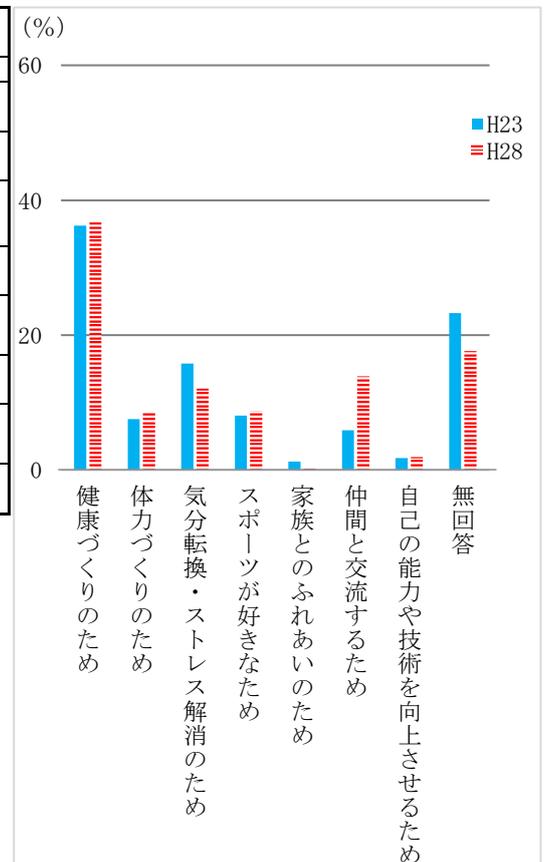
問13 スポーツを始めたきっかけは何ですか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	子供のころに好きで始めた	60	7.7	72	12.8
2	学生時代に経験した	82	10.5	57	10.2
3	職場・地域の人などの誘い	205	26.4	171	30.5
4	スポーツ教室や大会行事に参加して	73	9.4	63	11.2
5	その他	155	19.9	1	0.2
6	無回答	203	26.1	197	35.1



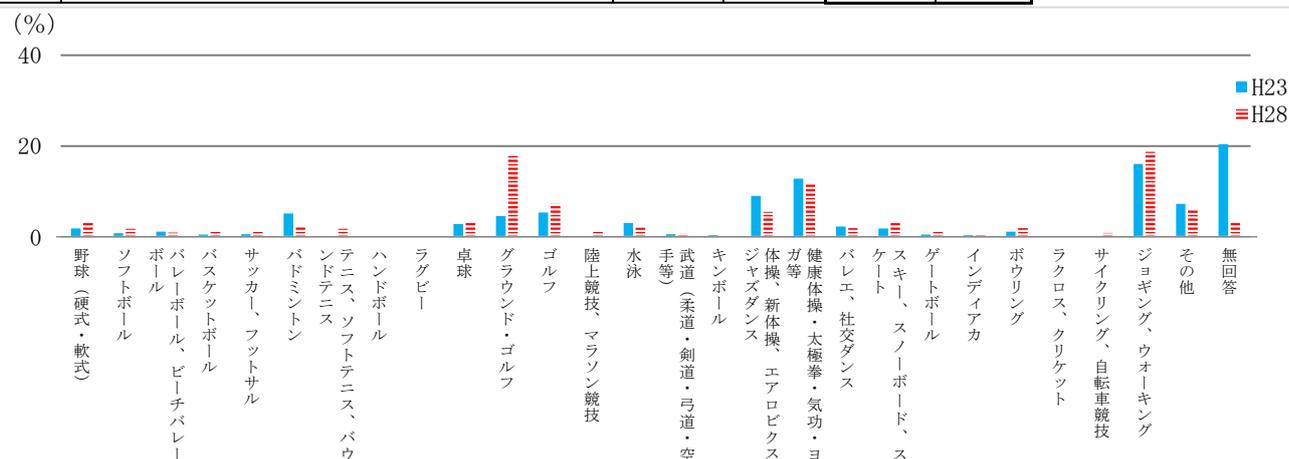
問14 スポーツを行っている目的は何ですか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	健康づくりのため	282人	36.2%	206人	36.7%
2	体力づくりのため	59人	7.6%	48人	8.6%
3	気分転換・ストレス解消のため	123人	15.8%	68人	12.1%
4	スポーツが好きなため	63人	8.1%	49人	8.7%
5	家族とのふれあいのため	10人	1.3%	2人	0.4%
6	仲間と交流するため	46人	5.9%	78人	13.9%
7	自己の能力や技術を向上させるため	14人	1.8%	11人	2.0%
8	無回答	181人	23.3%	99人	17.6%



問15 現在、特に行っているスポーツは何ですか？（複数回答あり）

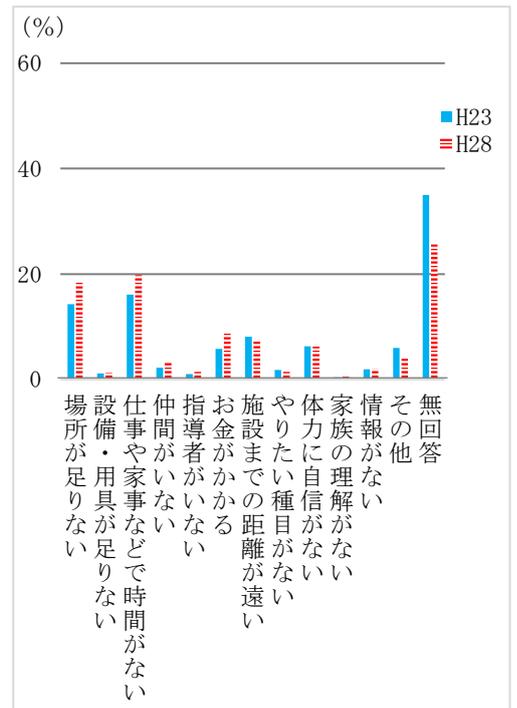
		平成 23 年		平成 28 年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	野球（硬式・軟式）	18	1.7	22	3.0
2	ソフトボール	8	0.8	13	1.8
3	バレーボール、ビーチバレーボール	13	1.3	7	1.0
4	バスケットボール	5	0.5	10	1.4
5	サッカー、フットサル	6	0.6	9	1.2
6	バドミントン	53	5.2	17	2.3
7	テニス、ソフトテニス、バウンドテニス			13	1.8
8	ハンドボール	0	0	0	0
9	ラグビー	0	0	1	0.1
10	卓球	29	2.8	23	3.1
11	グラウンド・ゴルフ	47	4.6	130	17.8
12	ゴルフ	55	5.4	53	7.3
13	陸上競技、マラソン競技	No. 26 に含む		11	1.5
14	水泳	32	3.1	15	2.1
15	武道（柔道・剣道・弓道・空手等）	6	0.6	5	0.7
16	キンボール	4	0.4	1	0.1
17	体操、新体操、エアロビクス、ジャズダンス	93	9.1	40	5.5
18	健康体操・太極拳・気功・ヨガ等	132	12.9	85	11.6
19	バレエ、社交ダンス	23	2.2	14	1.9
20	スキー、スノーボード、スケート	19	1.8	24	3.3
21	ゲートボール	5	0.5	10	1.4
22	インディアカ	4	0.4	4	0.6
23	ボウリング	12	1.2	14	1.9
24	ラクロス、クリケット	0	0	0	0
25	サイクリング、自転車競技	0	0	6	0.8
26	ジョギング、ウォーキング	165	16.1	137	18.7
27	その他	75	7.3	44	6.0
28	無回答	210	20.5	23	3.1



資料編

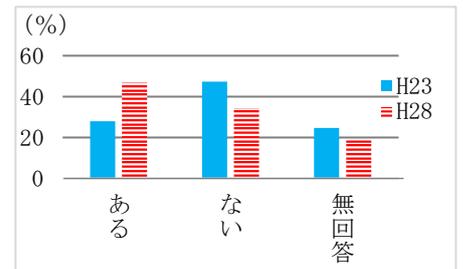
問16 スポーツをするときに妨げになることは何ですか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	場所が足りない	111	14.3	103	18.4
2	設備・用具が足りない	9	1.1	7	1.3
3	仕事や家事などで時間がない	125	16.1	111	19.8
4	仲間がいない	17	2.2	18	3.2
5	指導者がいない	8	1.0	8	1.4
6	お金がかかる	45	5.8	50	8.9
7	施設までの距離が遠い	63	8.1	41	7.3
8	やりたい種目がない	14	1.8	8	1.4
9	体力に自信がない	49	6.3	35	6.2
10	家族の理解がない	3	0.4	3	0.5
11	情報がない	15	1.9	11	2.0
12	その他	47	6.0	22	3.9
13	無回答	272	35.0	144	25.7



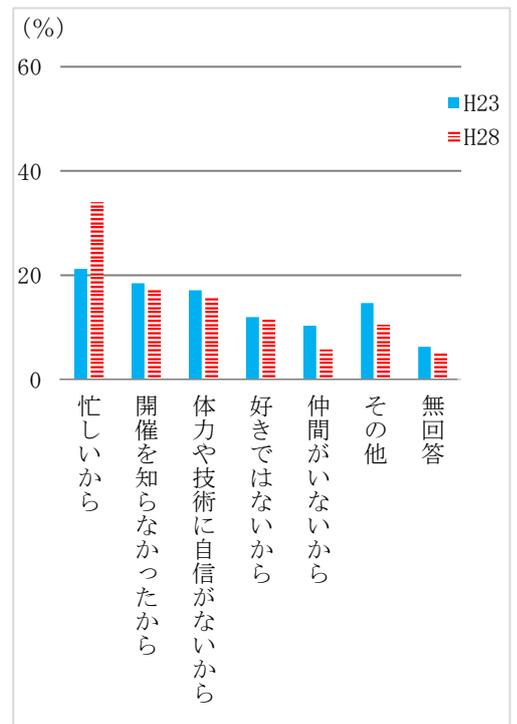
問17 この1年間に市のスポーツ大会や地域のスポーツ行事に参加しましたか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	ある	218	28.0	263	46.9
2	ない	368	47.3	191	34.0
3	無回答	192	24.7	107	19.1



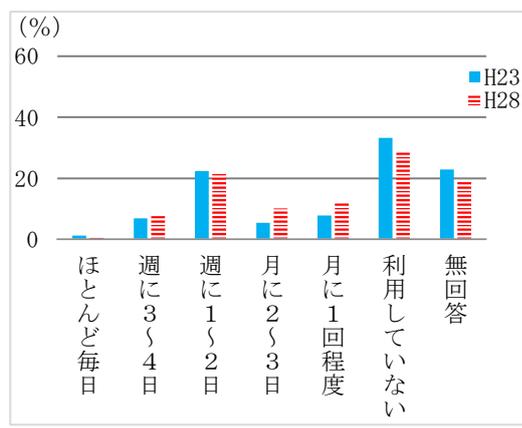
問17-1 なぜ、参加しなかったのですか？（2と回答した方）

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	忙しいから	78	21.2	65	34.0
2	開催を知らなかったから	68	18.5	33	17.3
3	体力や技術に自信がないから	63	17.1	30	15.7
4	好きではないから	44	12.0	22	11.5
5	仲間がいないから	38	10.3	11	5.8
6	その他	54	14.7	20	10.5
7	無回答	23	6.2	10	5.2



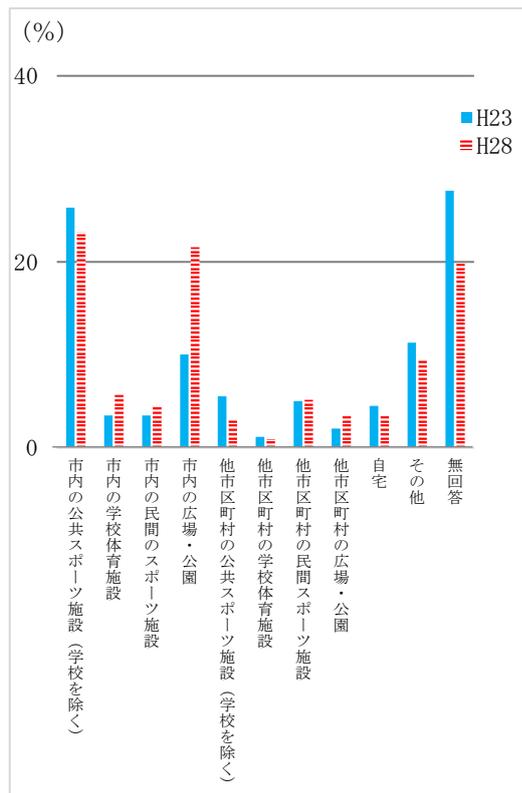
問18 この1年間に市にあるスポーツ施設（学校体育施設を除く）をどのくらい利用しましたか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	ほとんど毎日	10	1.3	3	0.5
2	週に3～4日	54	6.9	43	7.7
3	週に1～2日	174	22.4	123	21.9
4	月に2～3日	42	5.4	57	10.2
5	月に1回程度	61	7.8	67	11.9
6	利用していない	259	33.3	160	28.5
7	無回答	178	22.9	108	19.3



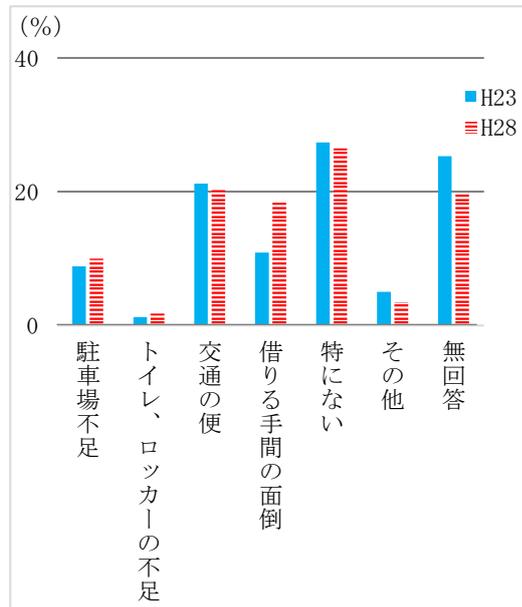
問19 普段どこでスポーツをしていますか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	市内の公共スポーツ施設（学校を除く）	201	25.8	130	23.2
2	市内の学校体育施設	27	3.5	32	5.7
3	市内の民間のスポーツ施設	27	3.5	25	4.4
4	市内の広場・公園	78	10.0	121	21.6
5	他市区町村の公共スポーツ施設（学校を除く）	43	5.5	17	3.0
6	他市区町村の学校体育施設	9	1.2	5	0.9
7	他市区町村の民間スポーツ施設	39	5.0	29	5.2
8	他市区町村の広場・公園	16	2.1	19	3.4
9	自宅	35	4.5	19	3.4
10	その他	88	11.3	53	9.4
11	無回答	215	27.6	111	19.8



問20 市内のスポーツ施設を利用する際、不満や不便だと感じていることは何ですか？

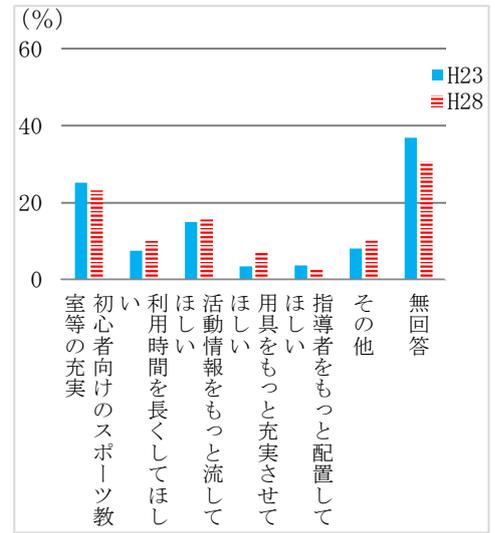
		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	駐車場不足	69	8.9	56	10.0
2	トイレ、ロッカーの不足	10	1.3	10	1.8
3	交通の便	165	21.2	114	20.3
4	借りる手間の面倒	85	10.9	103	18.4
5	特にない	213	27.4	149	26.5
6	その他	39	5.0	19	3.4
7	無回答	197	25.3	110	19.6



資料編

問 2 1 公共スポーツ施設に望むことは何ですか？

		平成 23 年		平成 28 年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	初心者向けのスポーツ教室等の充実	196	25.2	130	23.2
2	利用時間を長くしてほしい	59	7.6	57	10.1
3	活動情報をもっと流してほしい	117	15.0	88	15.7
4	用具をもっと充実させてほしい	27	3.5	42	7.5
5	指導者をもっと配置してほしい	29	3.7	15	2.7
6	その他	63	8.1	57	10.1
7	無回答	287	36.9	172	30.7



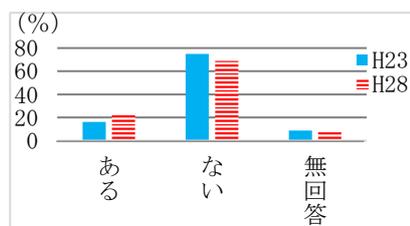
問 2 2 市内に建築・増設してほしいと思うスポーツ施設は何ですか？ (自由回答)

(人)

	平成 23 年		平成 28 年	
1	プール (屋内・屋外)	46	プール (屋内・屋外)	8
2	テニスコート	9	各地区の施設の充実	6
3	ジム	5	グラウンド・ゴルフ場	3
4	ゴルフ場	4	トレーニングジム・設備	3
5	全天候型陸上競技場	4	グラウンド	2
6	自宅からアクセスできる遊歩道	3	健康づくりのための小運動場	2
7	スケートリンク	3	夜間利用のできる施設	2
8	地域一体型スポーツクラブ	3	400mトラック	2
9	フットサル場	3	大会のできる施設	1
10	健康づくりの施設増設	2	公園、運動場	1
11	高齢者向けスポーツ施設	2	軽スポーツのできる施設	1
12	アーチェリー	1	ソフトボール専用球場	1
13	大南公園に健康遊具	1	カート場	1
14	屋内スキー場	1		
15	オリエンテーリングフィールド	1		
16	ゲートボール場	1		
17	サッカーグラウンド	1		
18	自転車が走りやすい道 市全域	1		
19	スポーツ吹き矢ができる施設	1		
20	ダンス用板間の教室	1		
21	ハンドボール場	1		
22	日帰りキャンプ場	1		
23	マットレス	1		
24	夜間 10 時まで利用できる施設	1		
25	野球場	1		
26	ロッカー・シャワー施設	1		
27	高齢者と子供の集い	1		

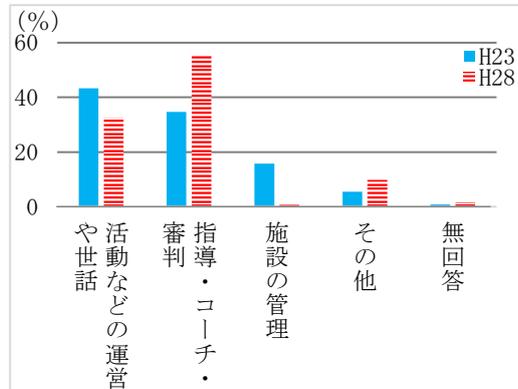
問2 3 過去1年位の間にスポーツに関する指導や協力など、ボランティア活動を行ったことはありますか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	ある	127	16.3	133	23.7
2	ない	583	74.9	386	68.8
3	無回答	68	8.8	42	7.5



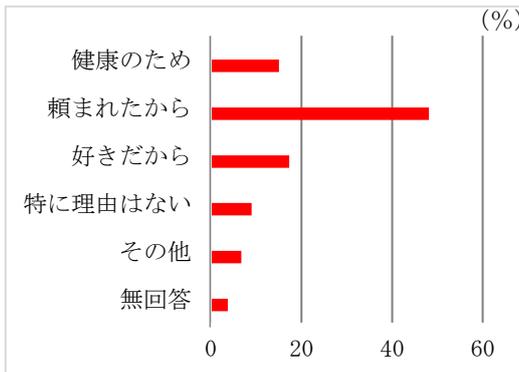
問2 3-1 主にどのような活動ですか？（1と回答した方）

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	活動などの運営や世話	55	43.3	43	32.3
2	指導・コーチ・審判	44	34.6	74	55.6
3	施設の管理	20	15.8	1	0.8
4	その他	7	5.5	13	9.8
5	無回答	1	0.8	2	1.5



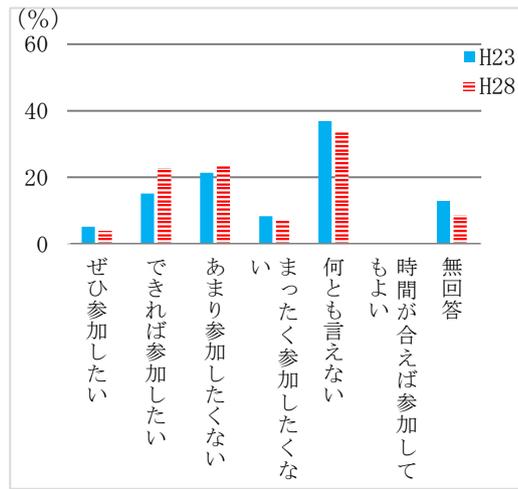
問2 3-2 主にどのような動機からですか？（1と回答した方）

		平成28年	
		(人)	(%)
1	健康のため	20	15.0
2	頼まれたから	64	48.1
3	好きだから	23	17.3
4	特に理由はない	12	9.0
5	その他	9	6.8
6	無回答	5	3.8



問2 4 今後スポーツに関するボランティア活動に参加したいと思いますか？

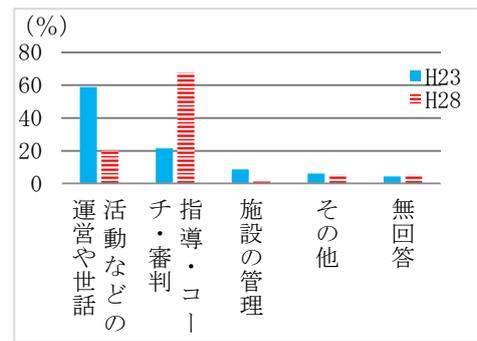
		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	ぜひ参加したい	40	5.1	22	3.9
2	できれば参加したい	118	15.2	127	22.6
3	あまり参加したくない	167	21.5	133	23.7
4	まったく参加したくない	65	8.3	39	7.0
5	何とも言えない	287	36.9	190	33.9
6	時間が合えば参加してもよい			1	0.2
7	無回答	101	13.0	49	8.7



資料編

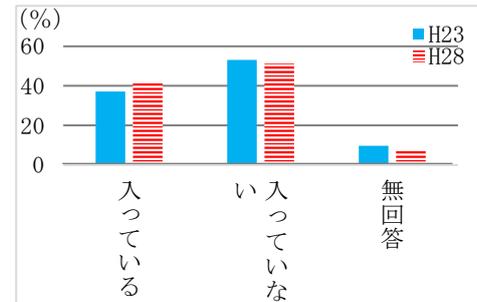
問24-1 主にどのようなボランティア活動ですか？（1又は2と回答した方）

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	活動などの運営や世話	93	58.9	30	20.1
2	指導・コーチ・審判	34	21.5	101	67.8
3	施設の管理	14	8.9	2	1.3
4	その他	10	6.3	8	5.4
5	無回答	7	4.4	8	5.4



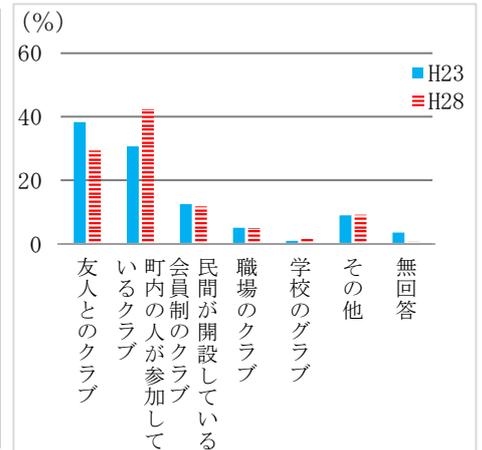
問25 現在、スポーツクラブ（サークル）に入っていますか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	入っている	289	37.1	232	41.4
2	入っていない	413	53.1	288	51.3
3	無回答	76	9.8	41	7.3



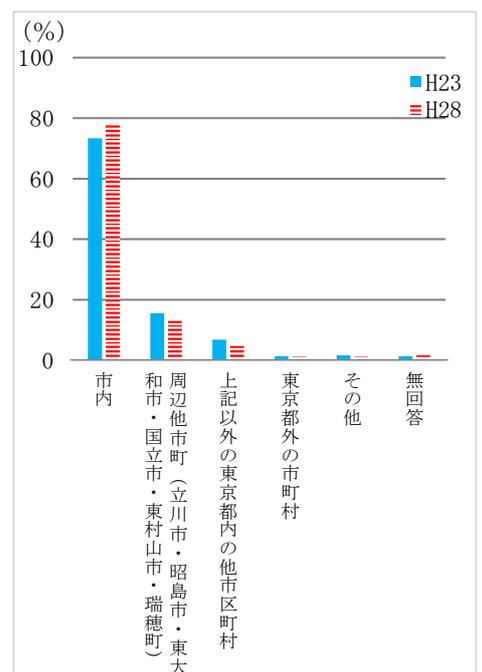
問25-1 それはどのようなクラブですか？（1と回答した方、複数回答あり）

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	友人とのクラブ	120	38.3	77	29.4
2	町内の人が参加しているクラブ	96	30.7	111	42.4
3	民間が開設している会員制のクラブ	39	12.5	31	11.8
4	職場のクラブ	16	5.1	13	5.0
5	学校のクラブ	3	1.0	4	1.5
6	その他	28	8.9	24	9.1
7	無回答	11	3.5	2	0.8



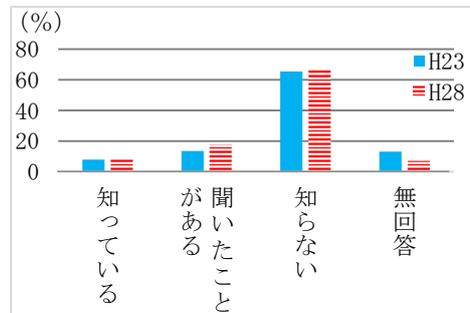
問25-2 そのクラブはどこにありますか？（1と回答した方、複数回答あり）

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	市内	226	73.4	197	78.2
2	周辺他市町（立川市・昭島市・東大和市・国立市・東村山市・瑞穂町）	48	15.6	33	13.1
3	上記以外の東京都内の他市区町村	21	6.8	12	4.7
4	東京都外の市町村	4	1.3	3	1.2
5	その他	5	1.6	3	1.2
6	無回答	4	1.3	4	1.6



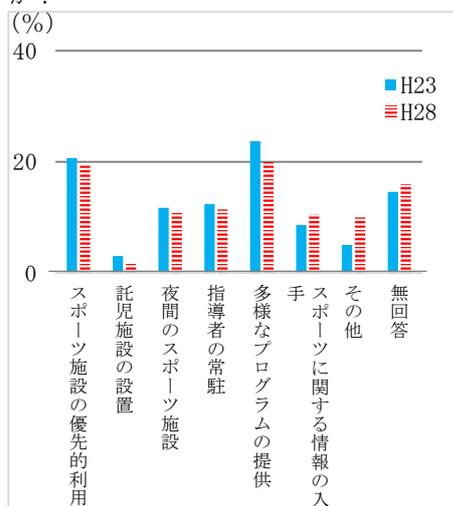
問26 「総合型地域スポーツクラブ」について知っていますか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	知っている	62	8.0	47	8.4
2	聞いたことがある	106	13.6	99	17.6
3	知らない	508	65.3	375	66.9
4	無回答	102	13.1	40	7.1



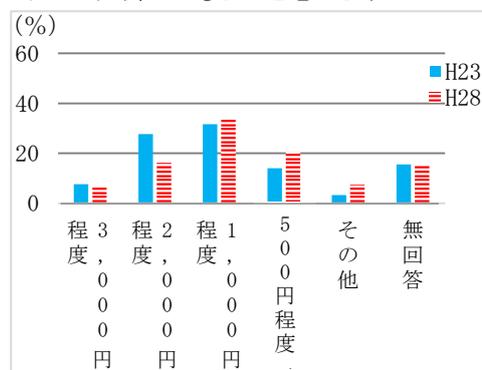
問27 総合型地域スポーツクラブに会費を出して入会してもよい条件は何ですか？

		平成23年 (複数回答)		平成28年 (2つまで回答)	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	スポーツ施設の優先的利用	208	20.7	137	19.4
2	託児施設の設置	31	3.1	12	1.7
3	夜間のスポーツ施設	118	11.7	78	11.0
4	指導者の常駐	125	12.4	81	11.4
5	多様なプログラムの提供	239	23.8	141	19.9
6	スポーツに関する情報の入手	87	8.6	75	10.6
7	その他	51	5.1	71	10.0
8	無回答	147	14.6	113	16.0



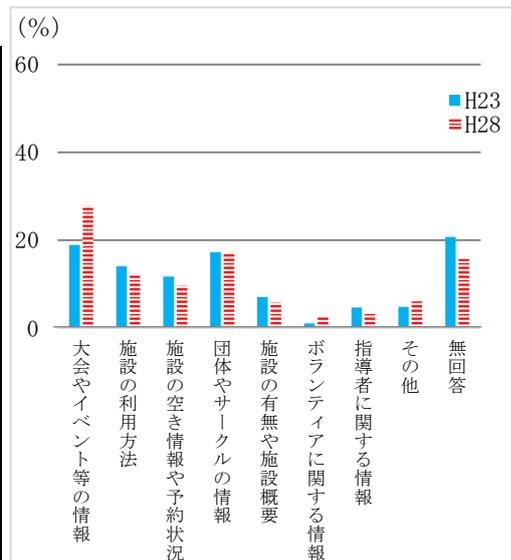
問28 会費について毎月どのくらいの会費なら総合型地域スポーツクラブに入会してもよいと思いますか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	3,000円程度	60	7.7	38	6.8
2	2,000円程度	216	27.8	91	16.2
3	1,000円程度	246	31.6	188	33.5
4	500円程度	109	14.0	115	20.5
5	その他	26	3.3	42	7.5
6	無回答	121	15.6	87	15.5



問29 知りたい市のスポーツ情報は何か？

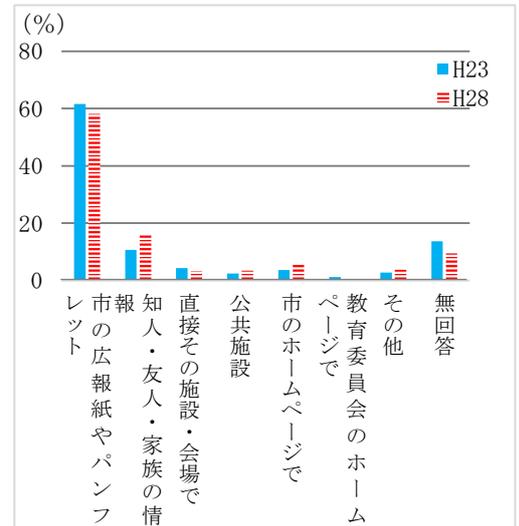
		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	大会やイベント等の情報	147	18.9	156	27.8
2	施設の利用方法	109	14.0	68	12.1
3	施設の空き情報や予約状況	91	11.7	54	9.6
4	団体やサークルの情報	134	17.2	96	17.1
5	施設の有無や施設概要	55	7.1	32	5.7
6	ボランティアに関する情報	8	1.0	15	2.7
7	指導者に関する情報	36	4.6	18	3.2
8	その他	37	4.8	34	6.1
9	無回答	161	20.7	88	15.7



資料編

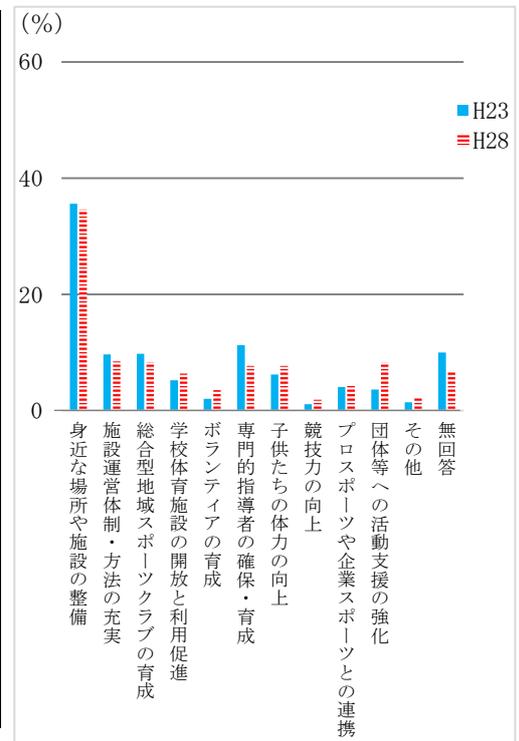
問30 市のスポーツ情報はどのようにして得ていますか？

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	市の広報紙やパンフレット	479	61.6	326	58.1
2	知人・友人・家族の情報	83	10.7	90	16.0
3	直接その施設・会場で	33	4.2	18	3.2
4	公共施設	19	2.4	19	3.4
5	市のホームページで	28	3.6	34	6.1
6	教育委員会のホームページで	9	1.2		
7	その他	21	2.7	21	3.7
8	無回答	106	13.6	53	9.5



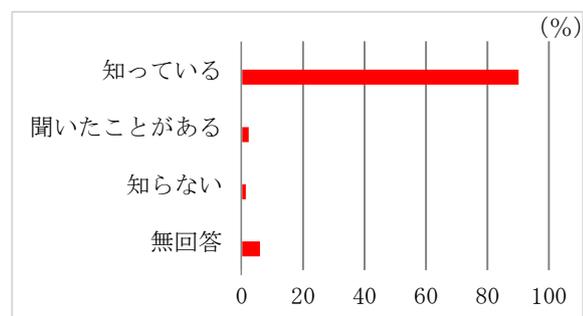
問31 市のスポーツ活動が盛んになるために特に大切なことはどのようなことだと思いますか？（複数回答あり）

		平成23年		平成28年	
		(人)	(%)	(人)	(%)
1	身近な場所や施設の設備	423	35.6	316	34.6
2	施設運営体制・方法の充実	115	9.7	77	8.4
3	総合型地域スポーツクラブの育成	116	9.8	76	8.3
4	学校体育施設の開放と利用促進	62	5.2	58	6.3
5	ボランティアの育成	24	2.0	32	3.5
6	専門的指導者の確保・育成	134	11.3	70	7.7
7	子供たちの体力の向上	74	6.2	70	7.7
8	競技力の向上	13	1.1	17	1.9
9	プロスポーツや企業スポーツとの連携	48	4.1	39	4.3
10	団体等への活動支援の強化	43	3.6	75	8.2
11	その他	17	1.4	21	2.3
12	無回答	119	10.0	62	6.8



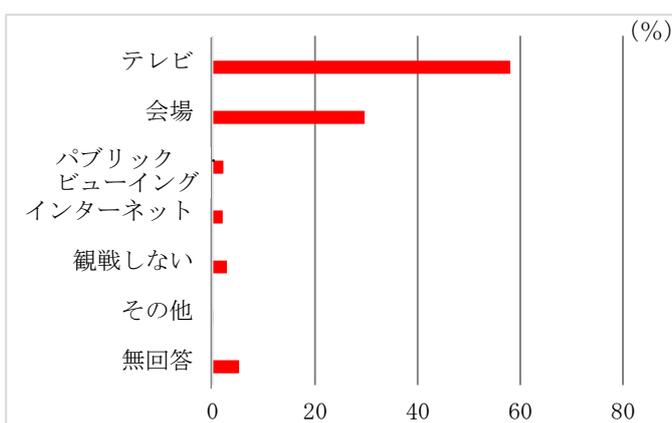
問32 平成32年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることを知っていますか？

		平成28年	
		(人)	(%)
1	知っている	506	90.2
2	聞いたことがある	13	2.3
3	知らない	8	1.4
4	無回答	34	6.1



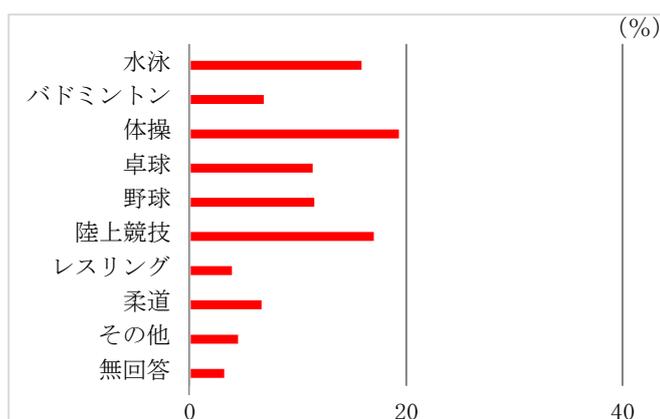
問33 東京オリンピック・パラリンピックをどのように観戦したいですか？（複数回答あり）

		平成28年	
		(人)	(%)
1	テレビ	413	58.1
2	会場	211	29.7
3	パブリックビューイング	15	2.1
4	インターネット	14	2.0
5	観戦しない	20	2.8
6	その他	1	0.1
7	無回答	37	5.2



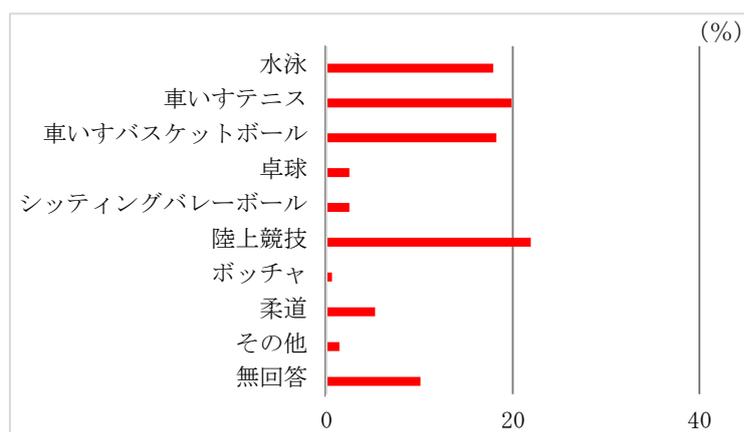
問34 東京オリンピックで観戦したい競技は何ですか？（複数回答あり）

		平成28年	
		(人)	(%)
1	水泳	225	15.9
2	バドミントン	97	6.8
3	体操	274	19.3
4	卓球	161	11.4
5	野球	163	11.5
6	陸上競技	241	17.0
7	レスリング	55	3.9
8	柔道	94	6.6
9	その他	63	4.4
10	無回答	45	3.2



問35 東京パラリンピックで観戦したい競技は何ですか？（複数回答あり）

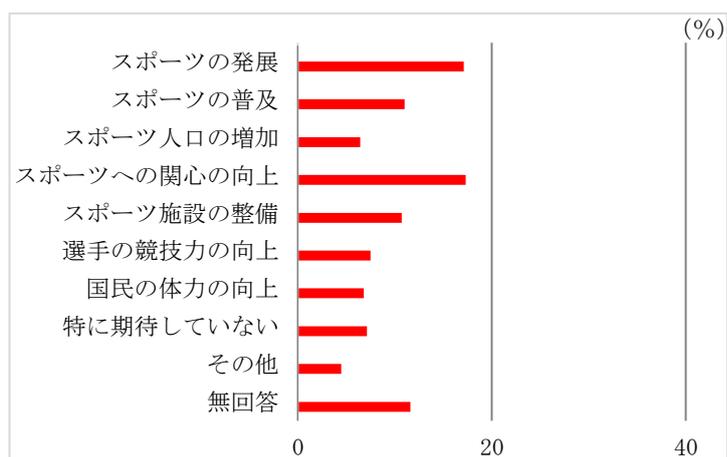
		平成28年	
		(人)	(%)
1	水泳	154	17.9
2	車いすテニス	171	19.9
3	車いすバスケットボール	157	18.2
4	卓球	21	2.4
5	シッティングバレーボール	21	2.4
6	陸上競技	189	21.9
7	ボッチャ	5	0.6
8	柔道	45	5.2
9	その他	12	1.4
10	無回答	87	10.1



資料編

問36 東京オリンピック・パラリンピックの開催で期待することは何ですか？

		平成28年	
		(人)	(%)
1	スポーツの発展	96人	17.1%
2	スポーツの普及	62人	11.0%
3	スポーツ人口の増加	36人	6.4%
4	スポーツへの関心の向上	97人	17.3%
5	スポーツ施設の整備	60人	10.7%
6	選手の競技力の向上	42人	7.5%
7	国民の体力の向上	38人	6.8%
8	特に期待していない	40人	7.1%
9	その他	25人	4.5%
10	無回答	65人	11.6%



4 武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会

(1) 武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱

武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱

平成23年4月 1日教委訓令(乙)第 5号

平成23年8月19日教委訓令(乙)第33号

平成24年3月19日教委訓令(乙)第 2号

平成29年7月31日教委訓令(乙)第 4号

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第10条第1項の規定に基づき、武蔵村山市の実情に即したスポーツの推進に関する計画(次条において「武蔵村山市スポーツ推進計画」という。)を策定するため、武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、武蔵村山市の実情に即したスポーツの推進に関する施策等について検討して武蔵村山市スポーツ推進計画の原案を策定し、武蔵村山市教育委員会に報告する。

(組織)

第3条 委員会は、委員15人をもって組織する。

2 委員は、教育部長、企画財務部企画政策課長、協働推進部協働推進課長、同部産業振興課長、同部観光課長、同部環境課長、健康福祉部高齢福祉課長、同部障害福祉課長、同部子育て支援課長、同部子ども育成課長、同部健康推進課長、都市整備部都市計画課長、教育部教育総務課長、同部教育総務課教育施設担当課長及び同部スポーツ振興課長の職にある者をもって充てる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長1人を置き、それぞれ教育部長の職にある委員及び教育部スポーツ振興課長の職にある委員をもって充てる。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育部スポーツ振興課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

資料編

附 則（平成23年8月19日教委訓令（乙）第33号）

この要綱は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）の施行の日（平成23年8月24日）から施行する。

附 則（平成24年3月19日教委訓令（乙）第2号）

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成29年7月31日教委訓令（乙）第4号）

この要綱は、平成29年7月31日から施行する。

(2) 武蔵村山市スポーツ推進計画改訂版策定経過

期 日	項 目	内 容
平成28年 12月5日～ 12月20日	アンケートの実施	18歳以上の市民、公共施設15か所
平成29年 8月22日	第1回策定委員会	■ 推進計画改訂版（素案）について
10月26日	第2回策定委員会	■ 推進計画改訂版（素案）について
11月1日～ 11月30日	意見公募の実施	推進計画改訂版（素案）に対する意見公募の実施
11月17日	教育委員会定例会	■ 推進計画改訂版（素案）について
12月22日	教育委員会定例会	■ 推進計画改訂版について

資料編

(3) 武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会委員名簿

区 分	氏 名	職 名	備 考
委員長	内 野 正 利	教育部長	
副委員長	指 田 政 明	スポーツ振興課長	
委 員	鈴 木 義 雄	企画政策課長	
"	増 田 宗 之	協働推進課長	平成 29 年 10 月 1 日～
	三 條 博 美		～平成 29 年 9 月 30 日
"	比留間 毅 浩	協働推進部長、協働推進部産業振興課長事務取扱	
"	児 玉 眞 一	観光課長	
"	川 口 涉	環境課長	
"	安 齋 高	高齢福祉課長	
"	松 下 君 江	障害福祉課長	
"	三 條 博 美	子育て支援課長	平成 29 年 10 月 1 日～
	小 林 眞		～平成 29 年 9 月 30 日
"	有 山 友 規	子ども育成課長	
"	宮 沢 聖 和	健康推進課長	
"	並 木 篤 志	都市計画課長	
"	井 上 幸 三	教育総務課長	
"	比留間 光 夫	教育総務課教育施設担当課長	

武蔵村山市スポーツ推進計画改訂版

(平成29年度～平成33年度)

発行年月／平成29年12月

発行／武蔵村山市教育委員会

編集／武蔵村山市教育委員会教育部スポーツ振興課

〒208-8501

武蔵村山市本町一丁目1番地の1

TEL 042-565-1111 (代表)



武蔵村山市教育委員会